

Quark License Administrator 4.0ガイド

©2006当資料の内容および協定に関する著作権はQuark Inc.およびスイスQuark Media House Sàrl社が有します。無断複写・転載を禁じます。

©2000-2006テクノロジーに関する著作権はQuark Inc.およびスイスQuark Media House Sàrl社 ならびにそのライセンサーが有します。無断複写・転載を禁じます。

Quark製品は、米国の次の1つまたは複数の特許あるいは出願中の特許により保護されています:米国特許番号 5,541,991、5,680,619、5,907,704、6,005,560、6,052,514、6,081,262、6,633,666、6,947,959 B1、6,940,518 B2。

本資料に記載された内容は予告なく変更される場合があります。本資料の内容はQuark Inc. またはQuark Media House Sàrl (スイス)の義務を表わすものではありません。

Quark製品および資料は、米国ならびに各国の著作権および知的所有権保護に従うものとします。Quark社の書面による同意なしに無断使用または複製することは禁止されています。

Quark社は、第三者ソフトウェアまたは第三者ハードウェア(以下「第三者製品」という)の 製造業者ではなく、そのような第三者製品をQuark社、Quark関連会社あるいはそのライセン サーによって制作、検査または検証することはありません(Quark関連会社とは、既存してい るものであれ将来的に結成されるものであれ、Quar社またはその親会社、あるいはQuark社株 主の過半数による共通制御機構による、またはその下で管理されたあらゆる人物、支店また は支配事業体を意味し、将来的にこのような社会的立場を取得する可能性のある人物、支店 または事業体も加えるものとします)。

Quark社、Quark関連会社および/またはそのライセンサーは、Quark製品/サービスおよび/ または第三者製品/サービス、それらの商品性、または特定目的への適合性に関して明示ま たは黙示を問わず保証しません。Quark社、Quark関連会社ならびにそのライセンサーは、Quark 製品/サービスおよび第三者製品/サービスに関するすべての保証を行ないません。明示、黙 示または付随を問わず、販売業者、小売業者、XTensionsデベロッパーまたはその他の第三者 によって保証などが行われても、これ以外のすべての保証および条件はQuark社、Quark関連 会社ならびにそのライセンサーによって拒否されます。ここでいう保証とは、不侵害、適合性、 またはソフトウェアがエラーのないもの、またはエラーを修正できることの保証も含みますが、 これに限定されるものではありません。第三者は、自社の製品および/またはサービスに関し て限定保証を規定しているため、ユーザーは権限、状態または分野が黙示保証の制限を越え ている場合、上記の限定が特定のユーザーには適用されない場合があり、前述の第三者の保 証について注意する必要があります。

いかなる場合もQuark社、Quark関連会社および/またはそのライセンサーは、実害、間接的 損害、付随的損害、派生的損害または懲罰的損害に対してユーザーに責任を負わないものと します。ここでいう損害は、それらが起因する損害や負債理論に対する損害にかかわらず、利 益損失、時間損失、預金損失、データ損失、費用損失、またはQuark製品/サービスの導入 または使用の際に発生するあらゆる費用全般を含みますが、これに限定されるものではありま せん。上記にかかわらず、Quark社、Quark関連会社および/またはそのライセンサーがQuark 製品/サービスまたは第三者製品/サービスに関して賠償責任があると判断された場合、そ の賠償責任は問題のソフトウェア/サービス(第三者製品/サービスを除く)の費用として Quark社に支払われた金額、または適用法令の最低金額のどちらか少ない金額に制限される ものとします。このような制限は、Quark社、Quark関連会社、そのライセンサーおよび/ま たはその代理店が、そのような障害の発生する可能性について忠告していた場合でも適用さ れます。権限、状態または分野によっては、付随的損害または派生的損害の除外または制限 を認めない場合があるため、この制限または除外は適用されない場合があります。制限に関す る法令を含む適用法令に基づいて規定されたこれ以外の制限はすべて、適用されるものとし ます。

これらの規定のうち、適用される法律で施行できない、または施行できなくなった規定がある 場合、その規定は施行できるように必要な範囲に発効を修正または制限するものとします。 Quark製品の使用は、ソフトウェアの使用許諾書の規約またはその製品/サービスに適用さ れる規約に基づいて行なうものとしますその規約とここで示した規定の間に不一致が生じてい る場合は、適切な協定によって規制されるものとします。

Quark、QuarkXPress、Quark Digital Media System、Quark Publishing System、QuarkCopyDesk、QPS、QuarkDDS、XTensions、およびQuarkDMSは、米国ならびに各国 で登録されたQuark Inc.とQuark関連会社の商標です(Reg. U.S. Pat. & Tm. Off.)。Quark ロ ゴはQuark Inc.とQuark関連会社の商標です。

MicrosoftおよびWindowsはMicrosoft Corporationの米国およびその他各国における登録商標です。

Apacheソフトウェアの版権(©1999-2000)はApache Software Foundationが所有していま す。無断複写・転載を禁じます。このソフトウェアと共に配布されるApache社のソフトウェ アはApache Software Foundation(www.apache.org/)によって開発されたものです。Apache ソフトウェアは「現状のまま」で、明示あるいは黙示を問わず無保証で提供されます。ここで いう無保証には、商品性および特定目的適合性の黙示保証の拒否などが含まれますが、これ に限定されるものではありません。いかなる場合もApache Software Foundationおよび協力者 は、当ソフトウェアの使用によって損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、 直接被害、間接的損害、付随的損害、実害、懲罰的損害または派生的損害(代用品または 代替サービスの調達、使用、データまたは利益の損失、または事業の中断による損失などを 含みますが、これに限定されるものではありません)、契約、厳格責任、または不法行為(過 失などを含む)による本ソフトウェアの使用から生じるいかなる損害に対してもユーザーに責 任を負わないものとします。

この製品にはRSA Data Securityによって認可されたコードが含まれています。

Sun、Sun Microsystems、Sunロゴ、Solaris、および Sunに関連するすべての商標、Java、および Java に関連するすべての商標は、米国ならびにその他各国におけるSun Microsystems, Inc.の商標または登録商標で、すべて許可を得て使用されています。

Java-Com bridge technologyに関しては、版権©1999-2001はDan Adler (315 E72 St. NY, NY, 10021, USA) が所有しています。メールアドレス:danadler@rcn.com。無断複写・転載を 禁じます。

1.ソースおよびバイナリー形式の再配布および使用は、変更の有無にかかわらず、以下の条件 を満たす場合に許可されます。ソースコードの再配布においては、上記の著作権表示、当条 件の列挙および下記の免責条項を残すこと。2.バイナリー形式の再配布においては、上記の 著作権表示、当条件の列挙および下記の免責条項を、配布物に附属した文書および/または 他のものに再現させること。3. いかなる形式での再配布もJACOBソフトウェア用の完全なソ ースコードを取得した方法に関する情報を添付すること。JACOBソフトウェアの再配布は、 本質的にJavaデベロッパーをターゲットとされる商品の一環として許可されていません。この ような製品にはJava Virtual Machines、総合的開発環境、コードライブラリーおよびアプリケ ーション・サーバー製品などがありますが、この限りではありません。このような配布に対す る認可条件は版権所有者から入手することができます。当ソフトウェアは「現状のまま」で、 明示あるいは黙示を問わず無保証で提供されます。ここでいう無保証には、商品性および特 定目的適合性の黙示保証の拒否などが含まれますが、これに限定されるものではありません。 いかなる場合も版権所有者は、当ソフトウェアの使用によって損害が生じる可能性について 報告を受けていたとしても、直接被害、間接的損害、付随的損害、実害、懲罰的損害または 派生的損害(代用品または代替サービスの調達、使用、データまたは利益の損失、または事 業の中断による損失などを含みますが、これに限定されるものではありません)、契約、厳格 責任、または不法行為(過失などを含む)による本ソフトウェアの使用から生じるいかなる損 害に対してもユーザーに責任を負わないものとします。

Mac OSは、米国ならびにその他各国におけるApple Inc.の登録商標です。

omniORBライブラリ(版権©1996-1999 AT&T Laboratories Cambridge)はフリーソフトウ ェアです。お客様はこのライブラリを、Free Software Foundationの発行しているバージョン2.1 または(お客様の選択によって)その後継バージョンのGNU Lesser General Public License の条件に基づいて、再配布および/または修正することができます。このライブラリは、有益 であることを期待して配布されるものですが、商品性または特定目的適合性の黙示的保証を はじめとする、いかなる保証をも伴いません。詳細については、GNU Lesser General Public Licenseを参照してください。GNU Lesser General Public Licenseのコピーは本ライブラリに含 まれているはずですが、もし含まれていない場合には、Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307まで文書でご連絡ください。

Microsoft technologyに関しては、版権©1988-2005はMicrosoft Corporationが所有しています。 無断複写・転載を禁じます。

OpenORB libraryに関しては、版権©1999-2001はIntalio, Inc.が所有しています。無断複写・ 転載を禁じます。

OpenORBソフトウェアおよび関連説明書(「当ソフトウェア」)の再配布および使用は、変更の有無にかかわらず、以下の条件を満たす場合に許可されます。

1. ソースコードの再配布においては、著作権記述および表示を残すこと。再配布には、当説明 書のコピーも含むこと。2. バイナリー形式の再配布においては、上記の著作権表示、当条件 の列挙および下記の免責条項を、配布物に附属した文書および/または他のものに再現させ ること。3. 事前にExoLab Groupに対して書面による許可を受けずに「ExoLab」という名称 を当ソフトウェアから派生した製品の販売促進に使用しないこと。書面による許可については、info@exolab.orgに連絡してください。4. 当ソフトウェアから派生した製品を「ExoLab」と呼んだり、事前にExoLab Groupに対して書面による許可を受けずに名称に「ExoLab」を使用しないこと。ExolabはExoLab Groupの登録商標です。5. ExoLab Groupに対する当然の功績を認めること。

当ソフトウェアはIntalio, Inc. および協力者によって「現状のまま」で、明示あるいは黙示を問 わず無保証で提供されます。ここでいう無保証には、商品性および特定目的適合性の黙示保 証の拒否などが含まれますが、これに限定されるものではありません。いかなる場合も Intalio, Inc. および協力者は、当ソフトウェアの使用によって損害が生じる可能性について報告を受け ていたとしても、直接被害、間接的損害、付随的損害、実害、懲罰的損害または派生的損害 (代用品または代替サービスの調達、使用、データまたは利益の損失、または事業の中断によ る損失などを含みますが、これに限定されるものではありません)、契約、厳格責任、または 不法行為(過失などを含む)による当ソフトウェアの使用から生じるいかなる損害に対しても ユーザーに責任を負わないものとします。

それ以外の商標はすべてそれを保持する各社に帰属します。



はじめに

本書について	Х
読者の前提条件	Х
本書で使用する表記	Х

1 Quark License Administratorの使用開始

QUARK LICENSE ADMINISTRATORの理解	1
QLA SERVER	2
QUARK LICENSE ADMINISTRATOR CLIENT	2
QLA CONTROL PANEL	2
ライセンスタイプの理解	2
ランカウントグループ	2
ノードロックリスト	3
ノードロックグループ	3
予備グループ	3
オフラインライセンス	3
リモートライセンスファイル	4
QUARK社とのライセンス使用状況データ交信	4
XTENSIONSモジュールライセンス	5
QUARK LICENSE ADMINISTRATORインストール後の作業	5
QUARK LICENSE ADMINISTRATOR SERVER	
コンポーネントの起動	5
ネットワークサービスとしてのQLA SERVERの起動	5
バックアップサーバーの開始	6
ライセンス情報	7
QUARK LICENSE ADMINISTRATORへのアクセス	7
QLA CONTROL PANELへのログオン	7
パスワードの変更	8
QLA CONTROL PANELからのログオフ	8

QUARK LICENSE ADMINISTRATOR	
サーバーコンポーネントのシャットダウン	9
サービスとして起動するサーバーのシャットダウン	9
QUARKアプリケーションの緊急キー起動機能の理解	10
QLA SERVERインターフェイスの使用	10
サーバーの状況(領域)	12
サーバーの詳細(領域)	12
サーバーを停止します(ボタン)	12
リフレッシュ(ボタン)	12
QLA CONTROL PANELのユーザーインターフェイスの使用	12
メニュー	13
タブ	15

2 Quark License Administratorの設定

19
19
20
21
22
23
23
24
25
26
26
27
28
28
29
29

3 ライセンス管理

複数アドミニストレータの監視	30
ローカルアドミニストレータの作成方法	30
ローカルアドミニストレータの編集方法	32
ローカルアドミニストレータの削除方法	33
忘れたパスワードのリセット方法	33
ライセンスの割り当て方法	34
ランカウントグループの使用方法	34
ノードロックリストまたはノードロックグループの作成方法	34
ノードロックリストまたはノードロックグループの編集方法	36
ノードロックリストまたはノードロックグループの削除方法	37
リモートライセンスファイルの使用方法	38
リモートライセンスの作成方法	38
将来使用するリモートライセンスファイルの作成方法	42
リモートライセンスファイルの修正方法	42
オフラインライセンスの使用方法	44
QUARKXPRESS用オフラインライセンスのチェックアウト方法	44
QUARKXPRESS用オフラインライセンスのチェックイン方法	45
オフライングループライセンス情報の表示	45
予備グループを使用してランカウントを増やす方法	47
予備ライセンスの設定方法	47
ライセンスチェックアウト状況の表示	48
システムログによるライセンスアクティビティの監視	50
QUARK LICENSE ADMINISTRATORアクティビティの監視	50
システムログへのアクセス方法	51

4 通知および警告

プライマリサーバーが使用不可	54
プライマリサーバーが使用可能	54
バックアップサーバーが使用不可	54
バックアップサーバーが使用可能	54
全ランカウントに対する所定の割合に達したライセンス使用状況	55
所定の割り当て日数に達したリモートチェックアウトライセンス	55
失効間近の期間限定ライセンス	55
所定の割り当て日数に達したライセンスファイル	55

付録А トラブルシューティング

問題と解決方法	56
サーバーハードドライブのエラー	56
許諾されたQUARK製品の再インストール	56
ポート番号の変更	56
システムログを使用したトラブルシューティング	57
Т 7 —	57
イベント	63
警告	70

付録B インストール後のアクティビティ

緊急ライセンスファイルの使用	73
連絡先情報の変更	74
パスワードを忘れた場合	75
新しいライセンスファイルのダウンロード方法	76
サーバー名またはポート番号の変更方法	78

用語解説

はじめに

操作を始める前に、この章を熟読して、本書の構成と本書を最大限に活用する方法 を理解してください。

本書について

『Quark License Administratorガイド』は、最初から最後まで読む必要はありません。情報 をすばやく検索し、知りたいことを把握して、仕事を進めてください。本書の冒頭に掲載さ れている詳細な目次を使用して、情報をすばやく検索できます。

読者の前提条件

本書は、すでにコンピュータの使い方に慣れ、以下の操作ができるユーザーを対象としてい ます。

- アプリケーションを起動する
- ファイルを開く、保存する、閉じる
- メニュー、ダイアログボックス、およびウィンドウを使用する
- ネットワーク環境を使って仕事をする
- マウス、キーボードコマンド、および変更キーを使用する

これらの分野についてさらに情報が必要な場合は、コンピュータに付属している説明書やその他の資料を参照してください。

本書で使用する表記

本書では、ユーザーが必要な情報をすばやく見つけられるように、さまざまな表記(スタイ ル)を使用しています。

太字表示

ダイアログボックスやフィールドなどのコントロールの名称は太字で表記しています。たと えば、「登録情報画面のライセンスファイルの登録およびダウンロードチェックボックスを オンにして、QLA Serverを登録し、Quark 社からライセンスファイルをダウンロードしま す。」などです。

丸括弧と矢印

機能に関する説明の中では、その機能へのアクセス方法が括弧で示されています。その中でも矢印(→)が頻繁に使用されていますが、これは機能へのメニューパスを表わしています。たとえば、「DNS名や IPアドレスを検索する場合は、「開始」メニュー→ 「コントロールパネル」→「ネットワーク」を選択します。」などです。

アイコン

注記

「注記」には、特定の機能や概念に関する追加情報が記載されています。また、ワークフロー を改善したり、手順を効率的に実行したりするための提案が記載されていることもあります。

クロスプラットフォーム表記

本書は、Quark[®] License Administrator(QLA)を使用できるすべてのプラットフォームを 対象としています。そのため、一部の用語については、オペレーティングシステムの違いに よってなじみの深さが異なる場合があります。たとえば、本書ではWindows[®]の用語である 「Exit(終了)」ではなく、Mac OS[®]の用語である「Quit(終了)」が使用されています。 オペレーティングシステムの違いよってキーボードコマンドが異なる場合、本書では次の表 記を使用しています。「Option(Mac OS)またはAlt(Windows)を押します。」

^{第1章} Quark License Administratorの 使用開始

ライセンスとは、会社で購入したソフトウェアを使用する許可のことです。Quarkア プリケーションのライセンスを5つ以上購入する場合は、付属のQuark License Administrator (QLA) ソフトウェアを使用することにより、複数のコンピュータに対 するアプリケーションのインストールおよび保守作業が簡略化されます。また、ライ センス管理の複雑さにも対処できる柔軟性を持ち合わせているため、本人(またはス ーパーアドミニストレータ)が複数のローカルアドミニストレータを作成したり、個々 のコンピュータ、個人ユーザーまたはグループ全体にライセンスを割り当てたりする ことができます。ユーザーがライセンスをチェックアウトし、指定した期間にわたり ネットワークから切り離して使用することも可能です。さらに、フリーランサーや契 約社員、出張中のスタッフなどがリモートライセンスファイルを使ってQuarkアプリ ケーションを遠隔地で実行することもできます。

QLAソフトウェアのインストール、およびライセンスファイルのダウンロードが完了 したら、QLAControl Panelにログオンし、ライセンスに関する設定を行なってくださ い。QLA Serverを起動したら、QLA Control Panelソフトウェアを使用して、サーバー または任意のクライアントコンピュータからQLA Serverにログオンできます。

QLAのシステム管理は階層構造になっており、スーパーアドミニストレータを最上位 に、その下にローカルアドミニストレータ、さらにその下にサブアドミニストレータが 配置されます。この階層の詳細については、第3章「ライセンス管理」をご参照くだ さい。

QUARK LICENSE ADMINISTRATORの理解

QLAシステムは、QLAServer、クライアント、およびQLAControl Panelという3つの主要 なコンポーネントで構成されています。この3つのコンポーネントが一体となって、Quark 製品のライセンスを管理するために必要なすべての機能を提供します。

QLAは、システム管理者向けに設計されています。このソフトウェアを使用するには、シス テムパラメータを修正するための管理者権限を持っており、ネットワーク上にソフトウェア をロードできる必要があります。

QLA SERVER

QLA Serverは、Quark社のアプリケーションクライアントにライセンスを発行するソフトウ ェアコンポーネントです。QLA Serverをインストールした後、Quark社のウェブサイトから ライセンスファイルをダウンロードします。最低限のシステム要件を満たしているネットワ ーク上のコンピュータであれば、どのコンピュータでもサーバーとして使用できます。最低 限のシステム要件とインストールに関する詳細については、QLACD-ROMに収録されてい る「Installation Instructions.pdf」ファイルをご参照ください。サーバーはネットワーク上の ライセンス使用状況を監視し、クライアントコンピュータにライセンスを許諾します。

QUARK LICENSE ADMINISTRATOR CLIENT

QLA Clientとは、Quark 社のアプリケーションがインストールされたコンピュータのことです。 クライアントコンピュータにインストールするソフトウェアとしては、QuarkXPress[®]、Quark Digital Media System[®]、Quark Publishing System[®] Classic Edition、Quark[®] Data Integration Toolkit、Quark Dynamic Document Server[®](QuarkDDS[®])などがあります。ユーザーがク ライアントコンピュータで Quarkアプリケーションを起動しようとすると、クライアントは QLA Serverに要求を送ります。サーバーは、ライセンスが存在するかどうかを判断します。 ライセンスが存在すれば、サーバーはライセンスを許諾し、クライアントコンピュータが Quarkアプリケーションを起動します。ライセンスが存在しない場合には、サーバーはライ センスを許諾しないため、クライアントはQuarkアプリケーションを起動しません。

QLA CONTROL PANEL

QLA Control Panel は、QLA Serverまたはクライアントコンピュータにインストールできます。 QLA Control Panelを使用して、フリーランサー、契約社員、その他のリモートユーザーの ライセンスファイルを作成および更新します。また、ローカルアドミニストレータの作成や、 ログファイルの表示、ランセンス使用についてのレポートの作成もできます。

ライセンスタイプの理解

割り当てられるQLAライセンスには、ランカウントグループ、ノードロックリスト、または ノードロックグループの3種類があります。さらに、必要に応じて予備ライセンスを要求し たり、オフラインライセンスをチェックアウトしたりすることもできます。

ランカウントグループ

デフォルト設定では、ランカウントグループはQuarkアプリケーション用に購入したライセンスの合計数です。他のリストやグループにライセンスを割り当てると、そのライセンス数はランカウントグループから消去されます。ユーザーおよびコンピュータがノードロックリストまたはノードロックグループに割り当てられていない場合にかぎり、ランカウントグループのライセンスは、ユーザーおよびコンピュータへ先着順に許諾されます。

ノードロックリスト

ノードロックリストは、特定のユーザーやコンピュータにライセンスを割り当てます。ノー ドロックリストは、リスト上のユーザーまたはコンピュータの数と、リストに割り当てられ たライセンスの数が1対1で対応しています。たとえば、ユーザーが5人なら5ライセンス が必要で、ノードロックリストにより、グループのメンバーがライセンスを必要とするとき に確実にライセンスが用意されます。ノードロックリストにライセンスを割り当てる場合、 そのライセンスはリストのメンバー用に予約されるため、一般のランカウントグループやノ ードロックグループでは使用できません。

ノードロックグループ

ノードロックグループは、指定されたライセンス数を共有するユーザーとコンピュータの グループです。通常はグループ内のメンバー数が、グループに割り当てられたライセンス 数を上回ることになります。ノードロックグループは、アプリケーションを常に必要とす るわけではないユーザーやコンピュータが存在する場合に便利です。このような構成の 場合には、ユーザーがノードロックリストでライセンスを入手する可能性を十分に確保 しつつ、一般のランカウントグループやノードロックリスト用にライセンスを確保できま す。ライセンスをノードロックグループに割り当てると、そのライセンスは常にそのグル ープのメンバーのために確保され、ネットワーク上の他のユーザーは使用できない状態 になります。

予備グループ

ー部の Quark ユーザーは、必要に応じて予備ライセンスを購入できます。購入した数を上 回るライセンス数が必要であるにもかかわらず追加発注を待つ時間がない場合に、予備ラ イセンスを使用してランカウントグループを増やすことができます。ただし、予備ライセンス は仮ライセンスであるため、Quark 社によって定められた期間しか使用できません。 予備ライセンスが利用できるかどうかは、ユーザーが保有するライセンス合計数の割合によ って決まるため、すべてのユーザーが予備グループの購入資格を持つわけではありません。 予備グループ購入資格の取得や予備グループの使用ガイドラインの詳細については、Quark 社にお問い合わせください。

オフラインライセンス

オフラインライセンスは、QLA Serverに接続せずに、一定期間ライセンスを使用する場合 に使用します。ユーザーがライセンスをチェックアウトすると、そのライセンスは使用可能 なライセンスグループから一時的に消去されます。オフラインライセンスのユーザーやコン ピュータは、予備グループを除いたリストやグループのメンバーになることができます。ユ ーザーまたはコンピュータがオフラインライセンスを要求すると、QLAは該当するグループ からライセンスを削除し、チェックアウト期間中、そのライセンスを延長グループに追加し ます。 延長グループは、しばらくの間ネットワークから切り離す必要があるコンピュータでユーザ ーがQuarkアプリケーションを使用する場合に便利です。たとえば、ノート型パソコンを使 用してライセンスをチェックアウトし、そのノート型パソコンを離れた場所で使用するため にネットワークから切り離す場合などです。

また、Quarkアプリケーションを起動するたびにQLA Serverに接続しないようにする場合に も使用できます。たとえば、月に1度の間隔でチェックアウトするよう指定すると、QLA Server に接続しなくても1か月間はアプリケーションを起動できます。

オフラインライセンスは、QuarkDMS、QuarkDDSおよび QPS[®] Classic Editionでは使用で きません。

リモートライセンスファイル

リモートライセンスファイルは、QLA Serverに接続することなく、遠隔地からQuarkアプリ ケーションを起動できるようにする場合に使用します。リモートライセンスファイルは、フ リーランサーや契約社員、その他毎日オフィスへ出勤できないユーザーにとって便利です。 リモートライセンスには、IP アドレス、ユーザーのコンピュータの物理アドレス、ライセン スファイルの使用期限など、必要な情報が記録されています。このファイルが遠隔地で使用 されると、QuarkアプリケーションはQLA Serverを検索しません。アプリケーションの起動 に必要なすべての情報がファイル自体に記録されているためです。

リモートライセンスファイルを作成する場合、ランカウントライセンスは使用可能なライセ ンスグループから一時的に消去されます。オフラインライセンスのチェックアウトと同様、 リモートライセンスファイルにも有効期間が設定されます。リモートライセンスファイルが 失効すると、ユーザーのコンピュータでアプリケーションが起動できなくなり、QLAServer がランカウントライセンスに自動的にチェックインします。

開始予定日と終了予定日を指定することにより、将来的に使用するリモートライセンスフ ァイルを作成できます。将来的に使用するリモートライセンスファイルを作成する場合に は、使用可能なライセンスグループからランカウントライセンスを一定期間一時的に消去し ます。

QUARK社とのライセンス使用状況データ交信

QLA Serverは、自動的にネットワーク経由でライセンスの使用状況を監視し、暗号化したファイルに情報を保存します。

サイトにアクセスしている間にQuark社が使用状況を監視することがあります。Quark社は 使用状況データが記録されている暗号化されたファイルをコピーします。ただし、ユーザー の個人的なファイルを閲覧することはありません。この使用状況データファイルはユーザー のシステムに存在し、日付、Quarkアプリケーションのシリアル番号、および使用状況に関 する情報が記録されています。

XTENSIONSモジュールライセンス

QLA Serverは、QuarkXPressとQuarkCopyDesk®のライセンスに加え、QuarkXPressと関 連付けられているXTensions®モジュールライセンスも監視します。この機能により、ユーザ ーのすべてのライセンスを1か所で効率的に管理できます。

QLAServerは、QuarkXPressと関連付けられているXTensionsモジュールライセンスのみを 管理します。この機能は、QuarkCopyDeskのライセンスには拡張されません。

QUARK LICENSE ADMINISTRATORインストール後の作業

QLAのインストール完了後、緊急ライセンスファイルの使用、連絡先情報の変更、忘れた パスワードの回復、ライセンスファイルの再ダウンロードなどの作業が必要となる状況に遭 遇することがあります。

インストール後の作業については、本書の「付録B」をご参照ください。

QUARK LICENSE ADMINISTRATOR SERVERコンポーネントの起動

Mac OSまたはWindowsでQLA Serverを起動するには、QLAアプリケーションフォルダ内の 「Server」フォルダで「QLAServer」ファイル(Mac OSの場合)または「QLAServer.exe」 ファイル(Windows の場合)をダブルクリックします。Solaris™の場合は、コンソールウ ィンドウ(cd Quark_License_Administrator/Server)を開き、コマンドプロンプト で「./QLAServer」と入力してEnterを押します。

Mac OS または Windowsの場合には、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリ ックしてサーバーを起動することもできます。このショートカットアイコンは、ソフトウェ アをインストールしたときに自動的に作成されます。



初めてバックアップサーバーを起動する前に、まずプライマリサーバーを起動してください。 この順序に従わないと、両方のサーバーが同期せず、バックアップサーバーにログオンでき なくなります。

Mac OSのみ:QLA Serverを起動する前に、サーバーの「省エネルギー」コントロールパネ ルで、「スリープ」コントロールを「しない」に設定してください($\bullet \rightarrow 「システム環境設$ 定」 → 「省エネルギー」)。コンピュータが低電力スリープモードになっていると、QLA Serverがライセンスを許諾できないため、サーバーを再起動する必要があります。

ネットワークサービスとしてのQLA SERVERの起動

QLAServerをネットワークサービスとして実行できます。これにより、コンピュータを起動 するたびに手動でQLAServerを起動する必要がなくなります。

MAC OSの場合

サーバーを再起動するたびにQLA Serverが自動的に起動するように設定できます。

WINDOWSの場合

QLA Serverサービスが自動または手動で実行されるように設定できます。QLA Serverが自動 的に実行されるように設定した場合には、サーバーを再起動するたびにQLA Serverが起動 します。QLA Serverサービスが手動で実行されるように設定した場合には、サーバーを再 起動するたびに手動でQLA Serverを起動してください。

QLA Serverを起動する前に、「電源オプション」(「スタート」→「設定」→「コントロールパネ ル」→「電源オプション」)の「システムスタンバイ」を「なし」に設定し「ハードディスクの電 源を切る」を「なし」に設定します。コンピュータが上記のいずれかのモードに入った場合 には、QLA Serverがライセンスを許諾できないため、サーバーを再起動してください。

サーバーをサービスとして起動している場合には、「スタート」→「設定」→「コントロール パネル」→「管理ツール」→「サービス」を選択します。Quark License Administratorを選択し 「開始」をクリックします。

Windows Server 2003では、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツー ル」→「サービス」を選択します。

また、デスクトップの「マイコンピュータ」を右クリックし、「管理」→「コンピュータの管 理」→「サービスとアプリケーション」→「サービス」を選択する方法もあります。

SOLARISの場合

サーバーを再起動するたびにQLA Serverが自動的に起動するように設定できます。コンピ ユータを再起動せずに手動でQLA Serverを起動するには、ルートユーザーとしてログオン して、以下のコマンドを実行します。

/etc/rc2.d/s12linkQLAServer

「rc3.d」フォルダ内のファイルが自動的に開き、サーバーが起動します。

Mac OSとSolarisでは、このサービス有効または無効にすることができます。コンピュータ を再起動したときにサービスを無効にするためには、「Server」フォルダの「disableQLAService」 ファイルをダブルクリックします。有効にするには、「Server」フォルダの「enableQLAService」 ファイルをダブルクリックします。

バックアップサーバーの開始

QLAをインストールするときには、バックアップサーバーを指定します。プライマリサーバーは定期的に交信シグナルをバックアップサーバーに送信します。プライマリサーバーが交信シグナルの送信を停止すると、バックアップサーバーが自動的に起動し、プライマリサーバーが再度使用できるようになるまでライセンス使用状況を監視します。

プライマリサーバーは、バックアップサーバーとの接続を回復した後、ライセンス使用状況 の監視を再開します。この時点で、バックアップサーバーはライセンスを許諾しなくなりま す。QLAは自動的に両方のサーバーのログファイルと設定情報を統合して、ライセンス使 用状況の記録を続けます。



プライマリサーバーとバックアップサーバーの接続が3日以上切断されると、バックアップサ ーバーはプライマリサーバーがネットワークに復旧するまでライセンスの許諾を停止します。

ライセンス情報

QLA Serverを起動すると、ライセンスを受けた Quark 製品に関する情報が表示されます。 この情報は、QLA Control Panel で閲覧できます。

QUARK LICENSE ADMINISTRATORへのアクセス

QLAにアクセスするには、まずQLA Control Panelをインストールします。QLA Control Panel のインストールに関する詳細については、QLA CD-ROMに収録されている「Installation Instructions.pdf」ファイルをご参照ください。

QLA Control Panel を複数のコンピュータで実行している場合には、複数のコンピュータからQLA Control Panel でライセンス設定を変更できます。

QLA CONTROL PANELへのログオン

MAC OSの場合

ログオンするには、次の手順に従ってください。

1 コンピュータのハードドライブにある「Quark_License_Administrator」フォルダ内の「Client」 フォルダを開いて、「QLAClient」ファイルをダブルクリックします。また、Quark License Administrator をインストールしたときにデスクトップに作成された「QLAClient」エイリア スをダブルクリックする方法もあります。「QLA Control Panel ログオン」ダイアログボック スが表示されます。

ユーザー名:	ОК
パスワード:	<u>キャンセル(C)</u>
	パスワード変更(H)

「QLA Control Panelログオン」ダイアログボックス

- 2 QLAのユーザー名を入力します。このユーザー名は、QLA Serverをインストールしたときに 入力したユーザー名(ローカルアドミニストレータの場合は、スーパーアドミニストレータ によって指定されたユーザー名)です。
- 3 パスワードを入力します。
- **4**「OK」をクリックします。「QLA Control Panel」ダイアログボックスが表示されます。

WINDOWSの場合

ログオンするには、次の手順に従ってください。

- 1 「スタート」→「プログラム」→「Quark License Administrator」→「QLA Client」を選 択するか、Quark License Administrator をインストールしたときにデスクトップに作成され た「QLA Client」エイリアスをダブルクリックします。「QLA Control Panel ログオン」ダ イアログボックスが表示されます。
- 2 QLAのユーザー名を入力します。このユーザー名は、QLA Serverをインストールしたときに 入力したユーザー名(ローカルアドミニストレータの場合は、スーパーアドミニストレータ によって指定されたユーザー名)です。
- 3 パスワードを入力します。
- 4 「OK」をクリックします。「QLA Control Panel」ダイアログボックスが表示されます。

パスワードの変更

パスワードを変更するには、次の手順に従ってください。

- 1「スタート」→「プログラム」→「Quark License Administrator」→「QLA Client」を選 択するか、Quark License Administrator をインストールしたときにデスクトップに作成され た「QLA Client」エイリアスをダブルクリックします。「QLA Control Panelログオン」ダイ アログボックスが表示されます。
- 2 QLA のユーザー名を入力します。
- 3「パスワード変更」をクリックします。「パスワード変更」ダイアログボックスが表示されます。

💹 パスワード 変更	▶	X
ユーザー名:		
旧パスワード:		-
新パスワード:		
パスワードを確認:		
ОК	■ +ャンセル(C)	

「パスワード変更」ダイアログボックス

- 4 旧パスワードを入力します。
- 5 新パスワードを入力します。
- 6「パスワードの確認」フィールドに新パスワードを再入力します。
- **7**「OK」をクリックします。

QLA CONTROL PANELからのログオフ

ログオフするには、「QLA Control Panel」ダイアログボックスで「システム」→「終了」を 選択します。

QUARK LICENSE ADMINISTRATOR サーバーコンポーネントのシャットダウン

QLA Serverをシャットダウンするには、サーバーウィンドウを表示して、「サーバーを停止 します」をクリックします。この操作により、サーバーおよび関連アプリケーションが完全 にシャットダウンします。

サービスとして起動するサーバーのシャットダウン

MAC OSの場合

サーバーをMac OSでサービスとして起動している場合には、「Server」フォルダにある 「stopQLAService」スクリプトを実行します。

WINDOWSの場合

Windows XPでサービスとしてサーバーを起動している場合は、「スタート」→「設定」→ 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」→「Quark License Administrator」→ 「停止」を選択してサービスを停止します。

Windows 2000でサービスとしてサーバーを起動している場合は、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」→「Quark License Administrator」→「停止」を選択してサービスを停止します。

Windows Server 2003では、「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「管理ツ ール」→「サービス」を選択します。

また、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「管理」→「コンピュ ータの管理」→「サービスとアプリケーション」→「サービス」を選択する方法もあります。

サービスは自動または手動で起動するように設定できます。

SOLARISの場合

サーバーをSolarisでサービスとして起動している場合には、「Server」フォルダにある 「stopQLAService」スクリプトを起動します。



QUARKアプリケーションの緊急キー起動機能の理解

QLAプライマリサーバーとバックアップサーバーの両方が使用できなくなったり、ネットワ ーク全体が使用できなくなったりした場合には、緊急キー起動(EKL)機能を使用してク ライアントコンピュータでQuarkアプリケーションを一時的に起動できます。この機能によ り、ネットワークやサーバーが復旧するまでの時間を確保できます。

Quark社のアプリケーションを起動しようとしたときにプライマリサーバーとバックアップ サーバーが使用できない場合には、EKLを使用してアプリケーションを起動するオプション が表示されます。EKLを使用して、最長120時間はサーバーなしでQuarkアプリケーション を実行できます。EKLを使用して120時間経過してもQuarkアプリケーションがQLAServer に接続されない場合には、クライアントコンピュータでアプリケーションを起動できません。 QuarkアプリケーションがQLA Serverに再び接続すれば、EKL は回復し、再び EKLを使 用して最長120時間までアプリケーションを操作できるようになります。初めにEKL機能を 使用する時間(1~120時間)は、ITスタッフがQuarkアプリケーションとQLAServerとの 接続不具合に関する問題を修正するのに十分な時間であると考えられます。

EKL機能は、QLAのインストール完了後、QuarkアプリケーションがQLA Serverに少なく とも1回は正常に接続された後に有効になります。

EKL使用時間の制限は、企業ユーザーをソフトウェア著作権侵害の問題から保護するため に設けられています。緊急事態が発生したときにEKLの機能にアクセスできるように、EKL の使用に関する会社の方針を定めることをお勧めします。

EKLの機能は、QuarkXPress 6.xおよびQuarkCopyDeskでのみ利用できます。

QLA SERVERインターフェイスの使用

QLA Serverは、Quarkアプリケーションクライアントにライセンスを発行するソフトウェア コンポーネントです。

QLA Serverを起動するには、デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックしま す。このショートカットアイコンは、ソフトウェアをインストールしたときに自動的に作成 されます。「QLA Server」ウィンドウが表示されます。

💿 QLA Server			X	
~サーバーの状況				
シリアル番号	ライセンス総数	残りのライセンス数		
DD22345678900	10	10		
NX12345678901	10	10		
NW12345678901	10	10		
K512345678901	5	5		
DT12345678901	5	5		
AB12345678901	5	5		
CU12345678901	6	6		
CD12345678901	6	6		
DS12345678901	5	5		
DU12345678901	5	5		
AB54656576736	500	500		
WX12345678901	1000	1000		
XY12345678901	1000	1000		
WC50742543027	1000	1000		
MC51492140620	10	10	~	
<		>		
- サーバーの詳細 開始日 (mm/dd/yyyy): 7/10/2007 5:11:6 PM サーバーIPアドレス: 10.91.32.129 サーバーボート: 7000 サーバーのバージョン/ビルド: 4.5[350009] サーバーの種類: プライマリサーバー 状況:				
	サーバーを作	∲止します リフレッシュ		

QLA Server

このウィンドウには以下のコンポーネントが表示されます。

- •「サーバーの状況」領域
- 「サーバーの詳細」領域
- •「**サーバーを**停止します」 ボタン
- **「リフレッシュ」**ボタン

サーバーの状況(領域)

この領域には以下のコンポーネントが表示されます。

- シリアル番号:各アプリケーションの登録済みシリアル番号が表示されます。
- ライセンス総数:リストに記載されている各アプリケーションに対して購入したライセンス 数(ランカウント)が表示されます。
- 残りのライセンス数:システムによってライセンスがローカルアドミニストレータに配布され、ローカルアドミニストレータがグループとリストを作成してそれらのユーザーにライセンスを確保した後に残ったライセンス数が表示されます。使用中のライセンスには、ユーザーがチェックアウトしたライセンス数と、ユーザーが使用している延長チェックアウト数が含まれます。

サーバーの詳細(領域)

「サーバーの詳細」領域には、QLA Serverが起動した日時、QLA Serverが実行されている コンピュータのIPアドレスとポート番号、サーバーがプライマリかバックアップかなど、QLA Serverの詳細情報が表示されます。 『アイコンは、QLA Serverが作動中であることを表わ します。緑色はQLA Serverがプライマリサーバーで作動中であること、黄色はQLA Server がバックアップサーバーで作動中であることを表わします。

サーバーを停止します(ボタン)

QLA Serverを停止するには、「サーバーを停止します」ボタンをクリックします。

リフレッシュ(ボタン)

QLA Serverのデータを更新するには、「リフレッシュ」ボタンをクリックします。

QLA CONTROL PANELのユーザーインターフェイスの使用

QLA Control Panel を使用して、フリーランサー、契約社員、その他のリモートユーザーの ライセンスファイルを作成および更新します。ローカルアドミニストレータの作成、ログフ ァイルの表示、ノードロックグループおよびリストの作成、設定オプションの変更、電子メ ール通知と他の電子メール関連項目の設定、Quark XPress 7.0に関連するライセンスの延長 に関する情報やチェックアウト状況の表示も行ないます。

QLA Control Panelソフトウェアにログオンするには、デスクトップのショートカットアイコ ンをダブルクリックします。このショートカットアイコンは、ソフトウェアをインストールした ときに自動的に作成されます。「QLA Control Panel」ダイアログボックスが表示されます。

💿 QLA Control Panel				
システム(5) 補助 表示(V) バージョン情報			
ライセンスノード ユーザー	パラメータ 設定オブション 電子メール通知			
Admin階層	ライセンスファイルアプリケーション情報――			
• 1111	アプリケー シリアル番号	バージョン 期限	ライセンス 残り	リのライ
	DM5 2.0.U5.WIN DD22345678900	2.00 2008/12/31	10	10 🔨
	DMS 2.0.US.WIN NX12345678901	2.00 2008/12/31	10	10
	DMS 2.0.US.WIN NW12345678901	2.00 2008/12/31	10	10
	Quark Dynamic D(K512345678901	1.00 2008/12/31	5	5
	Quark XPress DT12345678901	1.00 2008/12/31	5	5
	Quark Dynamic D(AB12345678901	1.00 2008/12/31	5	5
	Quark Dynamic DeCU12345678901	1.00/2008/12/31	6	6
	Quark Dynamic DeCD12345678901	1.00/2008/12/31	6	6
	QPS Classic 3.0 D512345678901	3.02008/12/31	5	5
	OPS Classic 3.0 DU12345678901	3.0/2008/12/31	5	512
ſ	DMS 2.0.US.WIN ライセンス配布			
	グループリスト名 タイプ	割り当て ユーザ	一名 ホスト	ID
		运知(A)	編集(丁) 頁)陈(E)

「QLA Control Panel」ダイアログボックス

QLA Control Panel には、メニューとタブがあります。

メニュー

QLA Control Panelでは、単一のウィンドウ内でメニューとコマンドに簡単にアクセスできます。各種アクティビティを実行するには、該当する項目をクリックします。

「システム」メニュー

「システム」メニューは、「QLA Control Panel」ダイアログボックスのデータを更新したり、 アプリケーションを終了したりする場合に使用します。

システム(<u>S</u>)	補助	表示
リフレッシュ	1(<u>R</u>)	^F
終了(<u>X</u>)		

「システム」メニュー

- ・リフレッシュ:「リフレッシュ」は、QLA Control Panelのデータを更新する場合に選択します。
- 終了:「終了」は、QLA Control Panel を終了する場合に選択します。

「補助」メニュー

「補助」メニューは、フリーランスユーザー用のリモートライセンスを作成する場合に使用 します。また、必要に応じてリモートライセンスを更新する場合にも使用します。

補助	表示(∀) バージョン情報
- U-	Eートライセンスファイルの作成 Ctrl+G
- U-	Eートライセンスファイルの更新 Ctrl+U

「補助」メニュー

- リモートライセンスファイルの作成:「リモートライセンスファイルの作成」は、フリーランスユーザー用のリモートライセンスを作成する場合に選択します。
- リモートライセンスファイルの更新:「リモートライセンスファイルの更新」は、リモート ライセンスファイルの情報を更新する場合に選択します。

「表示」メニュー

「表示」メニューは、XTensions モジュール情報、緊急キーとシステムログ、および使用可能なライセンスの延長または将来的なチェックアウト状況を表示する場合と、ログオプションを指定する場合に使用します。

表示(V) バージョン	情報
X <u>T</u> ensions情報	^Т
緊急キーログ	^E
システムログ	^L
ログオプション	^0
延長状況	^N
チェックアウト状況	^к
予約延長状況	^P
使用状況	^

「表示」メニュー

- XTensions情報: [XTension情報]は、XTensionsモジュールと関連ライセンスを表示する 場合に選択します。
- 緊急キーログ:「緊急キーログ」は、選択したアプリケーションライセンスの緊急キーログ を表示する場合に選択します。
- システムログ:「システムログ」は、QLAを使用しているQuarkアプリケーションのライセンス使用状況に関する情報を表示する場合に使用します。
- ログオプション:「ログオプション」は、QLAを使用して監視するアクティビティを定義する場合に選択します。
- 延長状況:「延長状況」は、Quarkアプリケーションの延長チェックアウト状況を表示する 場合に選択します。
- チェックアウト状況:「チェックアウト状況」は、Quarkアプリケーションのチェックアウト状況を表示する場合に選択します。
- 予約延長状況:「予約延長状況」は、将来的にチェックアウトされるライセンスを表示する場合に選択します。

「バージョン情報」メニュー

「バージョン情報」メニューは、現在のQLAControl Panelのバージョンに関する情報を表示 する場合に使用します。

タブ

QLA Control Panel のタブは、アドミニストレータ、グループ、またはリストを作成したり、 電子メール通知の設定を定義したりするための各種オプションを提供します。

「ライセンスノード」タブ

「**ライセンスノード**」タブは、ローカルアドミニストレータを作成し、各種ライセンスの情報 を表示し、ユーザーのグループとリストを作成する場合にクリックします。

QLA Control Panel					
ステム(5) 補助 表示((∀) バージョン情報				
イセンスノード ユーザ	ーパラメータ 設定オブション 電子メール	通知			
Admin階層	「ライセンスファイルアプリケーション情報	£			
• 1111	アプリケー シリアル番号	バージョン	期限	ライセンス	残りのライ
	DMS 2.0.US.WIN DD22345678900	2.00	2008/12/31	10	10 🔨
	DMS 2.0.US.WIN NX12345678901	2.00	2.00 2008/12/31		10
	DMS 2.0.US.WIN NW12345678901	2.00	2008/12/31	10	10
	Quark Dynamic DoKS12345678901	1.00	2008/12/31	5	5
	Quark XPress DT12345678901	1.00	2008/12/31	5	5
	Quark Dynamic DoAB12345678901	1.00	2008/12/31	5	5
	Quark Dynamic DoCU12345678901	1.00	2008/12/31	6	6
	Quark Dynamic DoCD12345678901	1.00	2008/12/31	6	6
	QP5 Classic 3.0 D512345678901	3.0	2008/12/31	5	5 🗸
	DDS Classic 3.0 DI 112345678001	3.0	2008/12/31		
	グループリスト名 タイプ	割り当て	ユーザ	-名 7	トストID
		λ	âhD(A)	編集(丁)	副熊(E)

「ライセンスノード」タブ

「ライセンスノード」タブは、以下の要素で構成されています。

- Admin 階層(領域):スーパーアドミニストレータやローカルアドミニストレータなどのユ ーザーの階層が表示されます。この領域で、Adminユーザーを作成、編集、および削除で きます。
- ライセンスファイルアプリケーション情報(領域):許可されたQuark製品に関する情報が 表示されます。

- ライセンス配布(領域):さまざまなユーザーのニーズに合わせた、グループとリストごとのライセンス割り当てが表示されます。
- 追加 (ボタン):ノードロックグループまたはリストを作成するには、「追加」 をクリックします。
- 編集(ボタン):ノードロックグループまたはリストを編集するには、「編集 | をクリックします。
- ・
 前除(ボタン):ノードロックグループまたはリストを削除するには、「削除」をクリックします。

「ユーザーパラメータ」タブ

「ユーザーパラメータ」タブをクリックして、使用可能な予備ライセンスを表示して使用を 承認します。また、選択したアプリケーションのライセンスキーを表示し、電子メールサー バーを定義し、システムアドミニストレータの複数の電子メールアドレスを追加、編集、ま たは削除する場合にクリックします。

	ライセンスノード	ユーザーバラメ	ータ 設定ス	† プション	電子メー	ル通知	
ライセンス設定							
アプリケーション	シリアル	番号	バージョン	予備ライイ	マンス	予備期間	承認
DMS 2.0.US.WIN	DD22345678900		2.00		752		0
DMS 2.0.US.WIN	NX12345678901		2.00		752		0
DMS 2.0.US.WIN	NW12345678901		2.00		75 2		0
Quark Dynamic Docu	umerKS12345678901		1.00		502		0
Quark XPress	DT12345678901		1.00		502		0
Quark Dynamic Docu	merAB12345678901		1.00		50 60)	0
Quark Dynamic Docu	merCU12345678901		1.00		50 60)	0
Quark Dynamic Docu	merCD12345678901		1.00		50 60		0
QPS Classic 3.0	DS12345678901		3.0		50 60)	0
QPS Classic 3.0	DU12345678901		3.0		50 60		0
Quark Dynamic Docu	merAB54656576736		1.00		50 60		0
Quark Dynamic Docu	merWX12345678901		1.00		50 60)	0
Quark Dynamic Docu	merXY12345678901		1.00		50 60		0
Quark Dynamic Docu	meiWC50742543027		1.00		50.60		0
サイト情報		システム管	理者の雷子メ・	-ルアドレス			
10.91.0.200		pansharma	@quark.com				追加
	設定						編集
							削除

「**ユーザーパラメータ」**タブ

「ユーザーパラメータ」タブは、以下の要素で構成されています。

- ライセンス設定(領域):予備ライセンスに関する情報が表示されます。この領域で、使用する予備ライセンスを承認できます。
 選択したアプリケーションと関連付けられているライセンスキーを表示するには、「ライセンスキー」をクリックします。
- サイト情報(領域):この領域は、「電子メールサーバー名」と「システム管理者電子メールアドレス」を入力する場合に使用します。電子メールアドレスを追加、編集、または削除するには、「追加」、「編集」、または「削除」をそれぞれクリックします。

「設定オプション」タブ

「設定オプション」タブは、QLA Serverの交信設定を指定し、延長チェックアウトの 設定値を入力する場合にクリックします。

😡 QLA Control Panel	
システム(S) 補助 表示(V) バージョン情報	
ライセンスノード ユーザーパラメータ 設定オプション 電子メール通知	
「サーバー設定	
交信間隔(秒): 交信リトライ回数:	_
300	
「延長チェックアウト設定」	
交信延長間隔(秒): フリーランカウントの最大延長チェックアウト(日数):	
300 1	
(#14(A)) ()2:	21
と延長チェックアウトプロバティを設定してください。	

「設定オプション」
 タブ

「設定オプション」タブは、以下の要素で構成されています。

- サーバー設定(領域):この領域は、「交信間隔(秒)」と「交信リトライ回数」を入力する 場合に使用します。
- ・ 延長チェックアウト設定(領域):この領域は、「延長交信間隔(秒)」と「フリーランカウントの最大延長チェックアウト(日数)」を入力する場合に使用します。
- •保存(ボタン):「保存」は、変更内容を保存する場合にクリックします。
- リセット (ボタン): 「リセット」は、フィールドをクリアする場合にクリックします。

「電子メール通知」タブ

「電子メール通知」タブは、QLA Serverの電子メール通知が送信される時期を指定する場合、ライセンス使用状況を定義する場合、およびライセンスファイルの使用期限を設定する場合にクリックします。

ライセンス使用状況	通知				
	状況通知を使用				
ライヤンス使用状況	(1)きい値 (割合)		ライヤンス	使用状況通知間隔(時	問)
80			5	001394090010 (*S	1407
サーバー状況通知一					
□ プライマリサー/	バー通知を使用				
	1 12/4 6 00/10				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-1(二) 添加太信田				
■ バックアップサー ライセンスファイル	 バー通知を使用 使用期限通知 				
 ハックアップサー ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する 	-バー通知を使用 使用期限通知 ・の最終有効日 01/0 使用期限までの日数	1/2008 15 日			
 ハックアッフサー ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する アプリケーション 	 バー通知を使用 使用期限通知 の最終有効日 01/0 使用期限までの日数 使用期限通知を有効 	1/2008 15 日 代			
 ハックアッファ- ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する アプリケーション 	-バー通知を使用 使用期限通知 の最終有効日 01/0 使用期限までの日数 /使用期限通知を有効	1/2008 15 日 代 パージョン	期限	ライセンス	使用期限までの日数
 ハックアッファー ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する アプリケーション アプリケーション アプリケーション DMS 2.0.US.WIN 	-バー通知を使用 使用期限通知 の最終有効日 01/0 使用期限までの日数 /使用期限通知を有効 シリアル番号 DD22345678900	1/2008 15 日 代と 2.00	期限 2008/12/31	ライセンス 10	使用期限までの日数
 ハックアッファー ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する アプリケーション アプリケーション アプリケーション DMS 2.0. US.WIN DMS 2.0. US.WIN 	 バー通知を使用 使用期限通知 の最終有効日 01/0 使用期限までの日数 /使用期限通知を有効 シリアル番号 D22345678900 NX12345678900 NX12345678900 	1/2008 15 日 代 2.00 2.00	期限 2008/12/31 2008/12/31	ライセンス 10 10	使用期限までの日数 0 0
 ハックアッファー ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する アプリケーション アプリケーシ	-バー通知を使用 使用期限通知 の最終有効日 01/0 使用期限までの日数 /使用期限通知を有効 りファル番号 DD22345678901 NW12345678901 NW12345678901	1/2008 15 日 代 2.00 2.00 2.00	期限 2008/12/31 2008/12/31 2008/12/31 2008/12/31	ライセンス 10 10 10	使用期限までの日数 0 0 0
 ハックアッファー ライセンスファイル ライセンスファイル 通知を送信する アプリケーション アプリケーション DMS 2.0.US.WIN DMS 2.0.US.WIN Quark Dynamic Do Duark ZPress 	-バー通知を使用 使用期限通知 の最終有効日 01/0 使用期限までの日数 /使用期限通知を有効 シリアル番号 DD22345678900 NX12345678901 KS12345678901 KS12345678901	1/2008 15 日 代 2.00 2.00 2.00 1.00	期限 2008/12/31 2008/12/31 2008/12/31 2008/12/31 2008/12/31	ライセンス 10 10 10 5 5	使用期限までの日数 0 0 0 0 0 0

「電子メール通知」タブ

「電子メール通知」タブは、以下の要素で構成されます。

- ライセンス使用状況通知(領域):この領域は、「ライセンス使用状況通知を使用」する場合、および「ライセンス使用状況しきい値(割合)」と「ライセンス使用状況通知間隔(時間)」を入力する場合に使用します。
- サーバー状況通知(領域):この領域は、プライマリおよびバックアップサーバー通知を有効にする場合に使用します。
- ライセンスファイル使用期限通知(領域):この領域は、ライセンスの使用期限が切れる日の指定日数前に電子メール通知を送信するように設定する場合に使用します。
- アプリケーション使用期限通知を有効化(領域):この領域は、「アプリケーション使用期 限通知を有効化」し、Quarkアプリケーションに関する情報を表示する場合に使用します。
- •保存(ボタン):「保存」は、変更内容を保存する場合にクリックします。
- リセット (ボタン): 「リセット」は、フィールドをクリアする場合にクリックします。

^{第2章} Quark License Administratorの 設定

QLA Control PanelにはQLA用のインターフェイスがあります。ログオンすると、す べてのライセンスアクティビティにアクセスできるように「QLA Control Panel」ダイ アログボックスが自動的に表示されます。

ライセンスファイル情報およびライセンス割り当ての表示

「QLA Control Panel」ダイアログボックスの「ライセンスノード」タブには3つの領域があ ります。それぞれ「Admin階層」領域、「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域、 「ライセンス配布」領域となっています。「Admin階層」領域には、スーパーアドミニストレ ータ、ローカルアドミニストレータなどのユーザーの階層が表示されます。「ライセンスファ イルアプリケーション情報」領域には、ライセンスを受けたQuark製品に関する情報が表示 されます。「ライセンス配布」領域では、ユーザーのニーズに合ったライセンスの割り当て方 法を定義します。

ADMIN階層の表示

「Admin階層」領域には、スーパーアドミニストレータ、ローカルアドミニストレータのリスト、およびローカルサブアドミニストレータのリストが表示されます。

─Admin階層───	_[51
3 1111	7
Adminユーザーの	作成
Adminユーザーの	編集
Adminユーザーの	削除
リフレッシュ	Qu

「Admin階層」領域

ローカルアドミニストレータの詳細については、第3章「ライセンス管理」の「複数アドミ ニストレータの監視」をご参照ください。

「Admin階層」領域全体を表示するには、QLA Serverをインストールするときに入力したユ ーザー名とパスワードを使ってQLAにログオンします。「QLA Control Panel」ダイアログボ ックスの「ライセンスノード」タブをクリックすると、「Admin階層」領域に以下の情報が 表示されます。

- スーパーアドミニストレータの識別情報(リストの最上位)
- ローカルアドミニストレータの識別情報(スーパーアドミニストレータの下位にあり、開示 ボックスまたはノードで表示)

ライセンスファイル情報の表示

「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域には、QLAを用いて管理しているQuark アプリケーションのリストが表示されます。

「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域は、「ライセンスノード」タブの右上に表示されます。

QLA Control Panel				
システム(S) 補助 表示(∀) バージョン情報			
ライセンスノード ユーザ-	- パラメータ 設定オプション 電子メール通知			
_Admin階層	┌ライセンスファイルアプリケーション情報──			
• 1111	アプリケー シリアル番号	バージョン 期限	ライセンス 残り(Dライ
	DMS 2.0.US.WIN DD22345678900	2.002008/12/31	10	10 🔨
	DMS 2.0.US.WIN NX12345678901	2.00/2008/12/31	10	10
	DMS 2.0.US.WIN NW12345678901	2.002008/12/31	10	10
	Quark Dynamic DdK512345678901	1.002008/12/31	5	5
	Quark XPress DT12345678901	1.002008/12/31	5	5
	Quark Dynamic DqAB12345678901	1.002008/12/31	5	5
	Quark Dynamic DcCU12345678901	1.002008/12/31	6	6
	Quark Dynamic DcCD12345678901	1.002008/12/31	6	6
	QPS Classic 3.0 D512345678901	3.0 2008/12/31	5	5
	ODS Classic 3.0 DEI12345678001	3.02008/12/31	< c	د ⊻
	L			
	┌DMS 2.0.US.WIN ライセンス配布			
		with the second	27 + L TO	
	5//-25%Pa 342	a) a (·
	,			
		28.607.6.3	(200/1) (200	
			#B0K(1)	B(C)
🛃 ノードロックグループ	とリストを設定してください。			

「ライセンスノード」タブ

この領域には以下の欄があります。

- アプリケーション: QLA で管理されている Quark アプリケーションが表示されます。
- シリアル番号:各アプリケーションの登録済みシリアル番号が表示されます。
- バージョン:各アプリケーションのバージョン番号が表示されます。
- 期限:ライセンスを受けたシリアル番号の使用期限が表示されます。「期限」欄に「永久」
 と表示されている場合、そのシリアル番号には使用期限はありません。
- **ライセンス**:リストに記載されている各アプリケーションに対して購入したライセンス数 (ランカウント)が表示されます。

残りのライセンス数:システムによってライセンスがローカルアドミニストレータに配布され、ローカルアドミニストレータがグループとリストを作成してそれらのユーザーにライセンスを確保した後に残ったライセンス数が表示されます。

ライセンス割り当ての表示

「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域でアプリケーションを選択すると、「ライ センス配布」領域でアプリケーションのライセンスがどのように配布されたかという情報が 表示されます。この領域では、以下の欄の下に情報が表示されます。

- グループ/リスト名:グループやリストに割り当てた名前が表示されます。
- タイプ:グループがノードロックグループかノードロックリストのどちらであるかが表示されます。
- 割り当て:グループにあるランカウントライセンスの合計数が表示されます。
- ユーザー名:グループやリストに含まれるユーザーの名前がセミコロンで区切られて表示されます。
- ホストID:グループやリストに含まれるコンピュータの物理ハードウェアアドレスが表示されます。

「ユーザー名」欄には、コンピュータのオペレーティングシステムにログオンするときに指 定したユーザー名が表示されます。

QUARKXPRESSと関連付けられているXTENSIONSライセンスの表示

「表示」メニューの「XTensions 情報」サブメニューには、QuarkXPress と関連付けられて いるXTensions モジュールライセンスの情報が表示されます。

「XTensions 情報」ダイアログボックスを表示するには、「表示」→「XTensions 情報」を選 択します。

🐵 XTensions情	報				
XTensions	バージョン	シリアル	XTデベロッパー	全ランカウント	残りのランカウ
AdvancedPalettes	2.3.5	QSX-aa2001zz	Configured for CC	2	1
AdvancedBoxes	1.2.3	QSX-a1001z	Configured for CC	1	0
		リフレッシ	۲.(R)	前除	閉じる

「XTensions情報」ダイアログボックス

このダイアログボックスには、以下の欄が表示されます。

- XTensions: XTensionsモジュールの名前が表示されます。
- バージョン: XTensionsモジュールのバージョンが表示されます。
- シリアル: XTensions モジュールライセンスのシリアル番号が表示されます。
- XTデベロッパー: XTensionsモジュールを作成した開発者の名前が表示されます。
- 全ランカウント: XTensions モジュールライセンスの総数が表示されます。
- •残りのランカウント:残りのライセンス数が表示されます。

「ユーザーパラメータ」タブの使用

「QLA Control Panel」ダイアログボックスの「ユーザーパラメータ」タブには、各アプリケーションの予備ライセンス設定と電子メールサーバー名に関する情報が表示されます。

		設定才	フジョン 電子メー	ール通知	
シリアル番	号 バー3	ジョン	予備ライセンス	予備期間	承認
DD22345678900		2.00	752		0
NX12345678901		2.00	752		0
NW12345678901		2.00	752		0
KS12345678901		1.00	502		0
DT12345678901		1.00	502		0
AB12345678901		1.00	506	0	0
CU12345678901		1.00	506	0	0
CD12345678901		1.00	506	0	0
DS12345678901		3.0	506	0	0
DU12345678901		3.0	506	0	0
AB54656576736		1.00	506	0	0
WX12345678901		1.00	506	0	0
XY12345678901		1.00	506	0	0
	システム管理者の	電子メー	ルアドレス		
]	pansharma@quar	k.com			追加
設定					編集
					削除
		シリアル番号 バー3 DD22345678900 NW12345678901 NW12345678901 Item (KS12345678901) UD22345678901 Item (KS12345678901) UCU12345678901 Item (KS12345678901) UCU12345678901 Item (KS12345678901) UCU12345678901 Item (KS12345678901) UXX12345678901 Item (KS12345678901) VXX12345678901 Item (KS12345678901) VXX7545678901 Item (KS12345678901) VX7545678901 Item (KS12345678901) VX7545678901 Item (KS12345678901) VX7545678901 Item (KS12345678901) Item (KS12345678901) Item (KS12345678901) Item (KS12345678901) Item (KS12345678901) Item	シリアル番号 パージョン DD22345678900 2.00 NX12345678901 2.00 ixS12345678901 2.00 ixS12345678901 1.00 DD22345678901 1.00 ixS12345678901 1.00 ixS12345678901 1.00 ixCU12345678901 3.0 ixB546565767801 3.0 ixB54656576736 1.00 ixX12345678901 1.00	シリアル番号 パージョン 子供ライセンス DD23345678900 2.00 752 NX12345678901 2.00 752 XX12345678901 2.00 752 XX12345678901 1.00 502 DD23345678901 1.00 502 XX12345678901 1.00 506 CU12345678901 1.00 506 DD23345678901 3.0 506 D12345678901 3.0 506 D12345678901 3.0 506 MX12345678901 1.00 506	シリアル番号 バージョン 予備ライセンス 予備期間 DD22345678900 2.00 752 NW12345678901 2.00 752 NW12345678901 1.00 502 DD22345678901 1.00 502 MU12345678901 1.00 502 MA12345678901 1.00 5060 CU12345678901 1.00 5060 DD12345678901 1.00 5060 DD12345678901 3.0 5060 DU2345678901 3.0 5060 DV12345678901 1.00 5060 MX12345678901 1.00<

「QLA Control Panel」ダイアログボックスの「ユーザーパラメータ」タブ

このタブには、「ライセンス設定」領域と「サイト情報」領域があります。

ライセンス設定(領域)

「**ライセンス設定**」領域には、予備ライセンスの資格に関する情報が表示されます。この領 域には以下の欄があります。

- アプリケーション:QLAを使用しているQuarkアプリケーションが表示されます。
- シリアル番号:各アプリケーションの登録済みシリアル番号が表示されます。
- バージョン:各アプリケーションのバージョン番号が表示されます。
- 予備ライセンス:各アプリケーションで使用可能な予備ライセンスの総数が表示されます。
 予備ライセンスの詳細については、第3章「ライセンス管理」の「予備グループを使用して
 ランカウントを増やす方法」をご参照ください。
- 予備期間:ユーザーがチェックアウトした後で予備ライセンスが有効である期間が表示されます。
- ・承認:使用可能な予備ライセンスの数が表示されます。この値は「ライセンスノード」タブの「予備ライセンス」の値よりも優先され、使用される臨時のライセンス数を制限するために用いられることがあります。

「ライセンスキー」ダイアログボックスを表示するには、「ライセンスキー」をクリックしま す。このダイアログボックスには、選択したアプリケーションに設定されたライセンスキー に関する情報が表示されます。

ライセンスキーの理解

ライセンスキーとは、ライセンスファイルに保存されている、アプリケーションに固有のデ ータです。この情報は、ライセンスファイルをダウンロードするときにライセンスファイル に含まれているか、QLA を起動するときにQuarkXPress、QuarkDDS、Quark Digital Media Server などのアプリケーションによって追加されます。

ユーザーがライセンスをチェックアウトするときにアプリケーションがこれらのライセンスキ ー値を照会し、この値に応じてアプリケーションの機能を調整します。たとえば、Quark Digital Media Serverは、ユーザーごとにデータベース接続の最大数を規定したライセンス キーを追加します。Quark Digital Media Serverは、ユーザーが接続するたびにライセンス キー値をチェックします。ユーザーが接続制限を超えると、Quark Digital Media Server は警 告を表示します。

選択したアプリケーションのライセンスキーがシリアル番号と関連付けられていない場合に は、警告が表示されます。警告を閉じるには、「OK」をクリックします。

ライセンスキー(ダイアログボックス)

「ライセンスキー」ダイアログボックス(「ユーザーパラメータ」タブ)には、選択したアプリケーションのライセンスキーに関する情報が表示されます。アプリケーションによってライセンス要件やユーザー設定が異なるので、このダイアログボックスには、QLA で監視するアプリケーションのさまざまな情報が表示されることになります。

ライセンスファイルにある Quark 社が用意した値は編集できませんが、実行時にアプリケーションで設定した一部のライセンスキー値は変更できます。

「**ライセンスキー**」ダイアログボックスに表示されているユーザーごとのデータベース接続可 能数を変更するには、次の手順に従ってください。

- **1**「**ユーザーパラメータ**」タブのアプリケーションを選択し、「**ライセンスキー**」をクリックします。「**ライセンスキー**」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 編集するフィールドを選択します。編集可能な場合は、値を変更し、「OK」をクリックします。

ライセンスキー	×
現在のライセンスキー値が以下に表示されます。	
KEY_DURATION (時間):	2
KEY_MIN_REM_DUR (時間):	1
KEY_REFILL_DUR (時間):	1
KEY_REFRESH_DUR (日):	1
KEY_LOG_REFRESH_DUR (日):	1
	OK キャンセル(C)

「**ライセンスキー」**ダイアログボックス

アプリケーションが新しい値を承認するかどうかは、変更した値によります。

サイト情報(領域)

「サイト情報」領域(「ユーザーパラメータ」タブ)では、Quark 社との通信に使用する電子 メールサーバー名を指定します。有効な SMTP サーバーを指定してください。サーバーを 変更するには、「電子メールサーバー名」フィールドに新しいサーバー名を入力して、「設定」 をクリックします。

「サイト情報」領域には、システム管理者の電子メールアドレスも一覧表示されます。

電子メールアドレスの追加

リストにアドレスを追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 「サイト情報」領域の「追加」をクリックします。「電子メールアドレスの追加」ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2「電子メールアドレス」フィールドにアドレスを入力し、「OK」をクリックします。

アドレスは「**サイト情報」**領域の「**システム管理者の電子メールアドレス」**フィールドに追加されます。

「電子メールアドレスの追加」ダイアログボックスに複数の電子メールアドレスを入力する には、電子メールエントリーをセミコロンで区切ります。

電子メールアドレスの編集

電子メールアドレスを変更するには、次の手順に従ってください。

- 既存の電子メールアドレスを変更するには、「サイト情報」領域のアドレスを選択し、「編集」をクリックします。
- 2 アドレスを編集し、「OK」をクリックします。

電子メールアドレスの削除

既存の電子メールアドレスを削除するには、「サイト情報」領域のアドレスを選択し、「削除」、「OK」の順にクリックします。

QUARK LICENSE ADMINISTRATORの設定方法

「QLA Control Panel」ダイアログボックスの「設定オプション」タブは、サーバーによる ライセンスの監視方法を定義する場合に使用します。

00		QLA Control Panel		
ステム(<u>S</u>) 補助 表示			Reality and the second se	an
		ユーサーバラメータ	設定オフション	電子メール通知
サーバー設定				
交信間隔(秒):		交信リ	トライ回数:	
300		3		
延長チェックアウト設交信延長間隔(秒):	定	79-	- ランカウントの最大	大延長チェックアウト(日数):
300		1		
				(保存(A)) (リセット
サーバーと延長チェ	ックアウトプロパティを	設定してください。		

「設定オプション」
 タブ

このタブには、「サーバー設定」領域と「延長チェックアウト設定」領域があります。
サーバー設定(領域)

QLAで管理されているQuarkアプリケーションは、定期的にサーバーにポーリングを行ない、 接続が有効であることを確認します。このポーリングセッションは定期的に行なわれ、アプ リケーションが起動し続けているかどうか調べていることから、交信と呼ばれています。「サ ーバー設定」領域で交信間隔を定義します。

交信を設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 「交信間隔(秒)」フィールドにポーリングセッションの間隔を秒単位で入力します。 Quarkアプリケーションは、サーバーへの接続に失敗すると、自動的に再接続を試行します。
- 2 「交信リトライ回数」フィールドに、エラーや接続障害を伝える前にクライアントが接続を 試行する回数を入力します。

たとえば、「交信間隔(秒)」の値が3600(1時間)で「交信リトライ回数」の値が10の 場合、システム障害の前に10時間の待ち状態になります。クライアントが10回再試行する うちにサーバーに接続できた場合、未決定のライセンスは復旧します。接続できなかった場 合には、割り当てられたすべてのライセンスがチェックインされます。

▶ 「交信間隔(秒)」の値は、クライアントがサーバーへの接続を試行する間隔の秒数を表わしています。間隔が短かいとサーバーとクライアント間の接続が中断したことを早く検出できますが、間隔が短かすぎるとネットワークトラフィックが著しく遅くなる可能性があります。間隔が長いとネットワークトラフィックは減少しますが、クライアントとの接続ができない状態をサーバーが通知しない可能性が生じます。環境のニーズに応じてインストールを計画してください。クライアントがサーバーとの接続を切断した場合、サーバーは交信システムを使用して、切断時にライセンスを使用していたクライアントに再接続します。ライセンスをチェックアウトした全クライアントからの交信をサーバーが受信するまで、ライセンスはリカバリグループにあります。サーバーが以前接続していたクライアントから交信を受信しない場合、そのクライアントのライセンスは通常のグループやリストにチェックインされます。

延長チェックアウト設定(領域)

オフラインライセンスは、ネットワークに接続していないコンピュータ(ノート型パソコン など)で一時的に作業したいユーザーのためのライセンスです。「**延長チェックアウト設定**」 領域でオフラインライセンスの設定を定義します。

オフラインライセンスの設定を定義するには、次の手順に従ってください。

- 1 「延長交信間隔(秒)」フィールドにポーリングセッションの間隔を秒単位で入力します。
- **2** 「フリーランカウントの最大延長チェックアウト(日数)」フィールドに、ユーザーがオフラ インライセンスをチェックアウトできる最大日数を入力します。

オフラインライセンスのチェックアウトの詳細については、第3章「ライセンス管理」の「オ フラインライセンスの使用」をご参照ください。

オフラインライセンスは、QuarkXPressとQuarkCopyDeskでのみ使用できます。

電子メール通知の設定

「QLA Control Panel」ダイアログボックスの「電子メール通知」タブは、システム管理者と アプリケーションユーザーのための定期的な通知を設定する場合に使用します。

QLA Control Panel	t				
/ステム(5) 補助 表;	示(∀) パージョン情	載			
ライセンスノード ユー	ザーパラメータ 設定	オブション 電子メール	通知		
 ライセンス使用状況通 ライセンス使用状況 ライセンス使用状況 5イセンス使用状況 80 	通知 況通知を使用 しきい値(割合)		7 1	センス使用状況通知間隔(時間)	
・ サーバー状況通知 ロブライマリサーバ ロバックアップサー	ー通知を使用 バー通知を使用				
ライセンスファイル0 ライセンスファイル0 □ 通知を送信する例	CHARDES 20 の最終有効日 01/01/2 使用期限までの日数	15			
アプリケーション	シリアル番号	バージョン	期限	ライセンス	使用期限までの日数
DMS 2.0.US.WIN	DD22345678900	2.00	2008/12/31	10	0 🔨
DMS 2.0.US.WIN	NX12345678901	2.00	2008/12/31	10	0
DMS 2.0.US.WIN	NW12345678901	2.00	2008/12/31	10	0
Quark Dynamic Docu	K512345678901	1.00	2008/12/31	5	0
Quark XPress	DT12345678901	1.00	2008/12/31	5	0
Quark Dynamic Docu	AB12345678901	1.00	2008/12/31	5	0 🗸
a la	CU10045630004	4 00	000014.0104	保存(A)	<u>Utv</u>
■ ● ● 子メール通知パラ	メータを設定				

「電子メール通知」タブ

このタブには、「ライセンス使用状況通知」領域、「サーバー使用状況通知」領域、「ライセ ンスファイル使用期限通知」領域、および「アプリケーション使用期限通知の有効化」領 域があります。

ライセンス使用状況通知(領域)

使用されていないライセンスと同様に使用中のライセンスも追跡する必要があります。この 追跡により、ライセンスの可用性を常時把握でき、ユーザーがライセンスを使用できない状 況にならないようにすることができます。この追跡を容易にするために、「ライセンス使用状 況通知」領域で、ライセンス使用状況通知がQLAアドミニストレータに送信されるように 設定できます。

ライセンス使用状況通知を設定するには、次の手順に従ってください。

- 1「ライセンス使用状況通知を使用」チェックボックスをオンにします。
- **2**「ライセンス使用状況しきい値(割合)」フィールドに、0~100の間の値を入力します。こ の値は、通知が送信されるライセンス使用状況の割合です。
- 3 「ライセンス使用状況通知間隔(時間)」フィールドに、0~100の間の値を入力します。こ の値は、通知の送信間隔時間です。

サーバー状況通知(領域)

プライマリサーバーとバックアップサーバーの両方を設置している場合には、「サーバー状況 通知」領域で、どちらのサーバーも利用できない場合にQLAControl Panelが通知を作成す るように設定します。

「ライセンス使用状法	兄通知]
📃 ライセンス使用	1状況通知を使用				
ライセンス使用状	況しきい値(割合)		ライセンス	x使用状況通知間隔(時	}問)
80			5		
「サーバー状況通知					
□ プライマリサー	パー通知を使用				
🗌 バックアップサ	ーバー通知を使用				
- ライセンスファイ) ライセンスファイ	ル使用期限通知 ルの最終有効日 01/0	1/2008			
🗌 通知を送信す	る使用期限までの日数	15 🛛 🖽			
🗌 アプリケーショ	ン使用期限通知を有効	化			
アプリケーション	シリアル番号	バージョン	期限	ライセンス	使用期限までの日数
DMS 2.0.US.WIN DMS 2.0.US.WIN	DD22345678900 NX12345678901	2.00 2.00	2008/12/31 2008/12/31	10 10	0 0

「サーバー状況通知」領域

以下のオプションの一方または両方をオンにします。

- プライマリサーバーが利用できない場合にControl Panelが通知を作成できるようにするには、「プライマリサーバー通知を使用」チェックボックスをオンにします。
- バックアップサーバーが利用できない場合にControl Panelが通知を作成できるようにするには、「バックアップサーバー通知を使用」チェックボックスをオンにします。

ライセンスファイル使用期限通知(領域)

ユーザーが「期間限定」ライセンスファイル(期限切れが近いライセンスファイル)を使用 している場合には、「**ライセンスファイル使用期限通知**」領域の日数を使用して、期限切れ になる前にライセンス使用期限の通知をユーザーに送信します。

「通知を送信する使用期限までの日数」チェックボックスをオンにして、使用期限の何日前 に通知がユーザーに送信するかを入力します。

アプリケーション使用期限通知を有効化(領域)

ー部のユーザーが期間限定のQuark アプリケーションコピーを使用している場合には、「ア プリケーション使用期限通知を有効化」領域で、QLA Control Panelがコピーの使用期限 に関する通知を作成するように設定します。

- ・「アプリケーション使用期限通知を有効化」チェックボックスをオンにします。
- •「使用期限までの日数」フィールドに、ライセンスコピーが期限切れになる何日前に通知を 送信するかを入力します。

システムが作成する各種通知と警告の詳細については、第4章「通知および警告」をご参照 ください。

これらの通知と警告は、QLA Control Panelの「ユーザーパラメータ」タブにある「電子メ ールサーバー名」フィールドに電子メールサーバー名を入力した場合にかぎり作成されます。

第3章 ライセンス管理

QLA Control Panelについて理解し、システムの設定を完了したら、システム用のラ イセンス割り当てパラメータの定義を始めることができます。ローカルアドミニスト レータを作成し、さまざまなライセンスグループにユーザーとコンピュータの割り当 てができます。また、社内ライセンス、オフラインライセンスおよび予備ライセンス に関する情報を表示できます。

複数アドミニストレータの監視

複数アドミニストレータを設定することにより、組織の各部署を通じて、優れたライセンス 運営が可能になります。複数アドミニストレータ機能はまた、多くの部署で会社のリソース を共有しながら、リソースの使用が特に計画的ではない環境にも役立ちます。そのような環 境では、部署によってリソースが不足したり、過剰になったりすることがあります。このよ うな問題を回避するには、各部署のローカルアドミニストレータにすべてのリソースを分配 します。ローカルアドミニストレータはスーパーアドミニストレータが管理します。そのよ うに管理することで、各部署のアドミニストレータが自分の部署に割り当てられたリソース を把握でき、システム全体がスムーズに運営されます。また、リソースの分配によりライセ ンス管理が分散され、ローカルアドミニストレータは必要に応じて自分の部署のユーザーに ライセンスを割り当てることができます。

システム管理は階層構造になっており、スーパーアドミニストレータを最上位に、その下に ローカルアドミニストレータ、さらにその下にサブアドミニストレータが配置されます。ス ーパーアドミニストレータは複数のローカルアドミニストレータを設定し、ライセンスを許 諾できます。ローカルアドミニストレータは担当するユーザーのライセンスを管理します。 ローカルアドミニストレータは、管理下にローカルサブアドミニストレータを作成し、配布 するライセンスをローカルサブアドミニストレータに割り当てます。ただし、スーパーアド ミニストレータが許諾したライセンスの範囲内にかぎられます。

ローカルアドミニストレータの作成方法

QLA Control Panelでは、QLA Serverのインストール時に指定された名称であるスーパーア ドミニストレータが複数のローカルアドミニストレータを作成します。スーパーアドミニス トレータのみがローカルアドミニストレータを作成できます。

ローカルアドミニストレータを作成するには、次の手順に従ってください。

1 「Admin階層」領域(「QLAControl Panel」ダイアログボックス→「ライセンスノード」 タブ)のスーパーアドミニストレータ上で右クリックします。



「Admin階層」領域

コンテクストメニューから「Adminユーザーの作成」を選択します。「Adminユーザーの作成」ダイアログボックスが表示されます。

ユーザーの詳細-	-				
ユーザー名	administrator	-ב	ザーロック		
パスワード:	*****	パスワ	フードの確認:	****	
アプリケーション	ノ情報				
アプリケーション	シリアル番号	全ランカウント	ト 残りのランカウン.	割当てられたラ	
DMS 2.0.US.WIN	DD22345678	10	10	0	
DMS 2.0.US.WIN	NX12345678	10	10	0	
DMS 2.0.US.WIN	NW12345678	. 10	10	0	U
Quark Dynami	KS12345678	5	5	0	
Quark XPress	DT12345678	5	5	0	
Quark Dynami	AB12345678	5	5	0	
Quark Dynami	CU12345678	6	6	0	🔺
Quark Dynami	CD12345678	6	6	0	🔻
			作成) († †>/±	N)

「Adminユーザーの作成」ダイアログボックス

- 3「ユーザー名」フィールドにローカルアドミニストレータの名前を入力します。
- 4 ローカルアドミニストレータの設定を保護するために、「ユーザーロック」チェックボックス をオンにします。
- ローカルアドミニストレータに、担当グループのランカウント割り当てに関する完全な権限 を持たせるには、「ユーザーロック」チェックボックスをオンにします。このオプションによ ってローカルアドミニストレータの設定が保護され、担当グループ内のランカウントの割り 当て、グループおよびリストの作成、編集、削除、サブアドミニストレータの作成と編集が できる権限を誤って削除することがなくなります。ただし、特定の状況下では、ローカルア ドミニストレータを削除できます。ローカルアドミニストレータのロックまたはロック解除 により、ローカルアドミニストレータの下に配置されているすべてのサブアドミニストレー タも自動的にロックまたはロック解除されます。

- **5** 「パスワード」フィールドに、ローカルアドミニストレータのパスワードを入力します。
- 6「パスワードの確認」フィールドにパスワードを入力し、割り当てたパスワードが正しいこ とを確認します。

「アプリケーション情報」領域には、Quark製品ライセンスのアプリケーション情報と使用情報が表示されます。

- アプリケーション名:アプリケーションの名前が表示されます。
- シリアル番号:アプリケーションライセンスのシリアル番号が表示されます。
- ・ 全ランカウント:アプリケーションのシリアル番号に対応した使用可能なランカウントが表示されます。
- 残りのランカウント:ローカルアドミニストレータに割り当て可能なランカウントが表示されます。
- 新しいアプリケーションのライセンスを、作成する各ローカルアドミニストレータに割り当 てるには、 たクリックします。アプリケーションごとのランカウントが残っているかぎり、 ランカウントを割り当てることができます。
 - 7「作成」をクリックします。
- ローカルアドミニストレータは、Control Panelクライアントを起動して、ユーザー名とパスワ ードを入力してログオンし、割り当てたライセンスを管理できます。ログオンすると、管理 下にサブアドミニストレータがいる場合には、そのサブアドミニストレータが表示されます。 ライセンスファイルには、ローカルアドミニストレータが所有するライセンス数が記録され ています。

ローカルアドミニストレータの編集方法

スーパーアドミニストレータとローカルアドミニストレータの両者は、システム設定に応じ てローカルアドミニストレータ設定を編集できます。

ローカルアドミニストレータを編集するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Admin階層」領域(「QLA Control Panel」ダイアログボックス→「ライセンスノード」 タブ)で、選択したローカルアドミニストレータを右クリックします。
- コンテクストメニューから「Adminユーザーの編集」を選択します。「Adminユーザーの編集」ダイアログボックスが表示されます。

- スーパーアドミニストレータが情報を変更できないように、「ユーザーロック」チェックボックスをオンにします。
- 「ユーザーロック」チェックボックスをオンにすると、スーパーアドミニストレータは設定を 変更できなくなります。ローカルアドミニストレータが自分のアカウントの「ユーザーロッ ク」チェックボックスをオンにした場合、スーパーアドミニストレータは各シリアル番号に 割り当てられたランカウントの変更ができなくなります。また、グループとリストの変更、 自分のドメイン(自分のアカウントとサブアドミニストレータのアカウント)内でのサブア ドミニストレータの作成と編集ができなくなります。ただし、スーパーアドミニストレータ は、「ユーザーロック」チェックボックスをオンにしたかどうかに関係なく自分のアカウント を削除できます。「ユーザーロック」チェックボックスをオフにすると、スーパーアドミニス トレータは自分のアカウントを変更できるようになります。
 - 4 選択したQuarkアプリケーションの「割り当てられたランカウント」欄を変更するには、「ア プリケーション情報」領域の……をクリックします。

Quarkアプリケーションのランカウント値が希望の値に変更されるまで、手順4を繰り返します。 5「保存」をクリックします。

ローカルアドミニストレータの削除方法

スーパーアドミニストレータは、ローカルアドミニストレータ管理下のライセンスがチェッ クアウトされていない場合に、そのローカルアドミニストレータを削除できます。 ローカルアドミニストレータを削除するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Admin階層」領域(「QLA Control Panel」ダイアログボックス→「ライセンスノード」 タブ)で、削除するローカルアドミニストレータを選択します。
- **2** コンテクストメニューから「**ユーザーの削除**」を選択します。「**削除の確認**」ダイアログボックスが表示されます。
- 3「OK」をクリックします。

忘れたパスワードのリセット方法

ローカルアドミニストレータとサブアドミニストレータは、マスターパスワードでもあるQLA アドミニストレータのパスワードを使用して、忘れたパスワードをリセットできます。 パスワードをリセットするには、次の手順に従ってください。

- ローカルアドミニストレータのユーザー名とQLAアドミニストレータのパスワードを使用して、QLA Control Panelクライアントにログオンします。
- 2「パスワード変更」をクリックしてアカウントパスワードをリセットします。
- 3 ユーザー名を入力します。
- 4 QLAアドミニストレータの旧パスワードを入力します。
- 5 新しいパスワードを入力します。

- 6「パスワードの確認」フィールドに新しいパスワードを入力します。
- 7「OK」をクリックします。

ライセンスの割り当て方法

QLAでは、ユーザー間でのライセンスの割り当てに柔軟性を持たせています。特定の個人 やコンピュータにライセンスを割り当てることができます。グループにライセンスを割り当 てることもできます。割り当て可能なライセンスの種類については、本書の「はじめに」の 章の「ライセンスタイプの理解」をご参照ください。

ランカウントグループの使用方法

Quarkアプリケーションを購入するときに、ユーザーはランカウントというライセンス数を 要求します。

デフォルト設定では、ランカウントグループはQuarkアプリケーション用に購入したライセンスの合計数です。ローカルアドミニストレータとしてログオンした場合、ランカウントグループはスーパーアドミニストレータが割り当てたライセンス数となります。他のリストやグループにライセンスを割り当てると、そのライセンス数はランカウントグループから消去されます。ユーザーおよびコンピュータがノードロックリストまたはノードロックグループに割り当てられていない場合にかぎり、ランカウントグループのライセンスは、ユーザーおよびコンピュータへ先着順に許諾されます。

「QLAControl Panel」ダイアログボックスの「ライセンス」欄(「ライセンスノード」タブ)で、 Quarkアプリケーション用に購入したライセンス数(ランカウント)またはスーパーアドミ ニストレータが割り当てたライセンス数を表示できます。

ライセンスノード ュ	ーザーバラメータ 設定オブション 電子メール通知			
-Admin階層	うイセンスファイルアプリケーション情報			
♦ 1111	アプリケー シリアル番号 パージョン	期限	ライセンス	残りのライ
	DMS 2.0.US.WIN DD22345678900 2.	00 2008/12/31	10	10 🔨
	DMS 2.0.US.WIN NX12345678901 2.	00/2008/12/31	10	10

「ライセンスノード」タブの「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域

ノードロックリストまたはノードロックグループの作成方法

ノードロックリストとは、特定のユーザーまたはコンピュータの登録簿のことです。このリ ストでは、リスト内のユーザーまたはコンピュータの数と、リストに割り当てられたライセ ンスの数が1対1で対応しています。ノードロックグループとは、指定されたライセンス数 を共有しているユーザーやコンピュータのグループのことです。このグループにはライセン ス数よりも多いメンバーを登録できます。

「**QLA Control Panel**」ダイアログボックスを使用して、ノードロックリストやノードロッ クグループを簡単に作成できます。

- 1 「ライセンスノード」タブ(「QLAControl Panel」ダイアログボックス)で、新しいノード ロックリストやノードロックグループに追加するQuarkアプリケーションを選択します。
- 2「追加」をクリックします。「ライセンス配布の追加」ダイアログボックスが表示されます。

00	ライセン	ス配布の追加		
許可されたアプリケーション				
アプリケーション:	DMS 2.0.US.WIN		パージョン:	2.00
シリアル番号:	NX12345678901		利用可能なライセンス:	10
カスタム設定				
グループリスト名		オフラインラ・	イセンスチェックアウトを許	न
グループカウント:	最;	長期間:	1	B
📃 ノードロックグループを	E作成			
ユーザー名		「ホストID		
C	追加(A)] 削除(E)		(追加([))][]除(L)
			ОК	キャンセル
			OK	

「ライセンス配布の追加」ダイアログボックス



「許可されたアプリケーション」領域を表示して、「QLAControl Panel」ダイアログボック スの「ライセンスノード」タブで選択したアプリケーションが正しいかを確認します。

- 3 「カスタム設定」領域の「グループ/リスト名」フィールドにグループまたはリストの名前 を入力します。
- 4 ノードロックグループを作成するには、「ノードロックグループを作成」チェックボックスを オンにします。このオプションのチェックボックスをオフにした場合には、QLAがノードロ ックリストを作成します。
- **5「グループカウント」**フィールドに、グループに割り当てるライセンス数を入力します。
- 6 ユーザーとコンピュータがグループまたはリストのオフラインライセンスをチェックアウトで きるように、「オフラインライセンスチェックアウトを許可」チェックボックスをオンにしま す。「オフラインライセンスチェックアウトを許可」チェックボックスをオンにした場合には、 「最長期間」フィールドが使用できます。ユーザーまたはコンピュータがオフラインライセン スをチェックアウトできる最大日数を入力します。

7 「ユーザー名」領域または「ホストID」領域で「追加」をクリックし、「ユーザー名の追加」 ダイアログボックスまたは「ホストIDの追加」ダイアログボックスを表示します。個々のユ ーザーの名前またはアプリケーションを実行するマシンのIPアドレスを入力して、「OK」を クリックします。

ホスト Dの追加 🛛 🔀	ユーザー名の追加	k	×
<u>ок</u> ++>th	ОК	キャンセル	

「ホストIDの追加」ダイアログボックスおよび「ユーザー名の追加」ダイアログボックス

ユーザー名とホストIDを引き続き入力し、すべてのユーザーをリストまたはグループに追加 してから、「OK」をクリックします。

ノードロックリストやノードロックグループにユーザーを追加する際に、「ユーザー名の追加」 ダイアログボックスに入力する名前は、ユーザーがコンピュータにログオンするときに入力す る名前にしてください。Mac OSでは、この名前は「システム環境設定」の「共有」で指定した コンピュータ名です。Windowsでは、この名前はネットワーク用に指定したユーザー名です。

「追加」ボタンがクリックできない場合は、そのランカウントグループで使用できるライセン スがないことを示しています。

ローカルアドミニストレータ用にグループを作成する場合は、Admin階層ツリーのローカル アドミニストレータを選択します。シリアル番号を選択し、グループまたはリストを作成し ます。

ノードロックリストまたはノードロックグループの編集方法

ノードロックリストやノードロックグループを作成した後で、そのメンバーリストを編集で きます。また、リストをグループに変更したり、グループをリストに変更したりすることも 可能です。

- 「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域(「QLA Control Panel」ダイアログボッ クス→「ライセンスノード」タブ)で、編集するノードロックリストやノードロックグループ が含まれるアプリケーションを選択します。この操作により、そのアプリケーションの「ラ イセンス配布」領域がアクティブになります。
- 2「ライセンス配布」領域で、編集するリストまたはグループを選択し、「編集」をクリックします。「ライセンス配布の編集」ダイアログボックスが表示されます。また、リストやグループをダブルクリックして、「ライセンス配布の編集」ダイアログボックスを表示する方法もあります。

00	ライセンス	配布の編集	
許可されたアプリケーション			
アプリケーション:	DMS 2.0.US.WIN	パージョン:	2.00
シリアル番号:	NX12345678901	利用可能なライセンス:	9
カスタム設定			
グループリスト名 test	✓ オ:	フラインライセンスチェックアウトを許	न
グループカウント: 1	最長期	間: 1	B
☑ ノードロックグループを	作成		
ユーザー名		「ホストID	
			1
	1.1		
	追加(A) 削除(E)	追加(1	D) (
		ОК) キャンセル

「ライセンス配布の編集」ダイアログボックス

3 適宜変更し、「OK」をクリックします。

ノードロックリストまたはノードロックグループの削除方法

ライセンス設定からノードロックリストまたはノードロックグループをすばやく消去できます。

- 1 「ライセンスファイルアプリケーション情報」領域(「QLA Control Panel」ダイアログボックス→「ライセンスノード」タブ)で、削除するノードロックリストやノードロックグループが含まれるアプリケーションを選択します。この操作により、そのアプリケーションの「ライセンス配布」領域がアクティブになります。
- 2 「ライセンス配布」領域の「グループ/リスト名」欄で、消去するリストやグループを選択 し、「削除」をクリックします。
- 選択したリストやグループのメンバーがライセンスをチェックアウトした場合、「**削除**」ボタ ンは使用できません。

ローカルアドミニストレータのグループを削除する場合は、「Admin階層」領域のローカル アドミニストレータを選択します。グループまたはリストのシリアル番号を選択し、削除し ます。

リモートライセンスファイルの使用方法

QLAでは、リモートライセンスファイルを使用して遠隔地からQuarkアプリケーションを実行できます。このライセンスを許諾することは、フリーランサーや契約社員、出張の多いス タッフなど、ネットワークに接続できないユーザーにとって便利です。このようなユーザー に対して、一定の期間のみ有効なライセンスファイルを割り当てることができます。リモー トライセンスには、IPアドレス、フリーランサーのコンピュータの物理アドレス、ライセン スファイルの使用期限など、アプリケーションを実行するために必要な情報が記録されてい ます。遠隔地でこのファイルを使用する場合は、該当するすべての情報が既にリモートライ センスファイルに記録されているため、QuarkアプリケーションはQLA Serverを検索しま せん。

リモートライセンスの作成方法

リモートライセンスファイルを作成するには、次の手順に従ってください。

 1「補助」→「リモートライセンスファイルの作成」を選択します。「リモートライセンスファ イルの作成」ダイアログボックスが表示されます。

リモ□トライセンスファイルの作成	
アブリケーションおよびユーザーの詳細 電子メール通知 XTensions	
- アブリケーション情報 シリアル番号選択	
DD22345678900	~
アプリケーション名 パージョン	
QuarkCopyDesk 7.0	
ファイル名 日	
QuarkCopyDesk7.0.dat 1	
- ユーザーの詳細	
ホストID ユーザー名 122456790000 bost	
開始日(mm/dd/yyyy) 終了日(mm/dd/yyyy)	
07/10/2007 其夜中	
作成 キャンセル	

「リモートライセンスファイルの作成」ダイアログボックス

2 「シリアル番号選択」ドロップダウンメニュー(「アプリケーション情報」領域)から、リモ ートライセンスを作成するアプリケーションのシリアル番号を選択します。

- 3 アプリケーションのシリアル番号を基に、アプリケーション名とバージョンを選択します。 「ファイル名」フィールドに、作成するリモートライセンスファイルの名前が表示されます。 このファイル名は、「アプリケーション名」フィールドと「バージョン」フィールドで選択したオプションによって異なります。
- 4 「日」フィールドに、作成するリモートライセンスファイルの有効日数を入力します。この 日数を過ぎると、リモートライセンスファイルが失効し、自動的にランカウントがチェック インされます。
- ▶ この日数には、以下の領域で指定されている最長期間を超えて入力することはできません。
 - 設定オプション: グローバルランカウントグループに所属する場合。
 - グループまたはリスト設定:そのグループまたはリストに所属する場合。
 - 5 「ホストID」フィールド(「ユーザーの詳細」領域)に、フリーランサーのコンピュータの物 理アドレス(例:000802439X12)または16桁のFirewireアドレスを入力します。
 - ▶ 物理アドレスを表示するには、Mac OSでは →「システム環境設定」を選択し、Windows では ipconfig/all コマンドを実行します。

リモートライセンスファイルは、ファイルで詳細情報が定義されている特定のコンピュータ 上でしか実行されません。

- **6「ユーザー名」**フィールドにフリーランサーのコンピュータ名を入力します。
- 7 カレンダーコントロールを使用して、「開始日」フィールドにフリーランサーのコンピュータの日付(mm/dd/yyyy)を入力します。 ユーザーのシステムの日付は、ユーザーがリモートライセンスファイルの使用を開始する日を定義します。この日から、リモートライセンスファイルの使用期限までのカウントダウンが始まります。
- ▶ リモートライセンスファイルの使用中にシステム時間を調整すると、割り当てられた期限以前にファイルが失効してしまうことがあります。また、指定された日時以前にリモートライセンスファイルを使用しようとすると、そのファイルに不正が行なわれたものとしてQLAによってマークされます。

8「電子メール通知」タブをクリックします。ライセンスが失効するまでの残り時間をユーザ ーに知らせるための通知を作成するには、「使用期限日前に通知を行ないます」チェックボ ックスをオンにします。

リモ□トライセンスファイルの作成	×
アプリケーションおよびユーザーの詳細 電子メール通知 XTensions	_
アブリケーションおよびユーザーの詳細 モチメール加速 通知の詳細 通知の詳細 通知の詳細 連用期限日前に通知を行います! モチメールID pansharma@quark.com 使用期限までの日数 ●	
作成 キャンセル	

「リモートライセンスファイルの作成」ダイアログボックスの「電子メール通知」タブ

- 9「電子メールID」フィールドに、通知の送信先ユーザーの電子メールアドレスを入力します。
- 10 「使用期限までの日数」フィールドに、ファイルが失効する何日前にQLAが通知を送信す るかを入力します。
- 11「XTensions」タブをクリックします。リモートライセンスファイルにXTensions モジュール 情報を記録するには、該当するXTensions モジュールの「含む」チェックボックスをオンに します。

00	IJ	モートライセンスファ	イルの作成	
7	プリケーションお	よびユーザーの詳細	電子メール通知	XTensions
_含む				
	含む	XTensions名	シリ	アル番号
		(作成) (キャン	レセル	

「リモートライセンスファイルの作成」ダイアログボックスの「XTensions」タブ

- 12 「作成」をクリックして、指定した場所にリモートライセンスファイルを作成します。「開く」 ダイアログボックスが表示されます。リモートライセンスファイルの保存場所へのパスを入 力または指定します。
- ローカルアドミニストレータは、作成したライセンスを、電子メールを使用してQuarkアプリケーションユーザーに送信します。ユーザーはアプリケーションを起動する前に、ライセンスファイルをアプリケーションのインストールディレクトリにコピーする必要があります。

サーバーでは、チェックアウト日を暦日で数えます。オフラインライセンスが失効すると、 サーバーはそのライセンスを使用期限日の午前00:01にチェックインします。たとえば、使 用期限日が6月2日の場合、ライセンスは6月2日午前00:01にランカウントグループにチ ェックインされます。ただし、クライアントでは、チェックアウト日を24時間単位で数えま す。使用期限1日間のライセンスが6月1日の午後4:00にチェックアウトされた場合、サー バーはそのライセンスを6月2日午前00:01にランカウントグループに戻します。ただし、手 動でチェックインされないかぎり、ライセンスは午後4:00までリモートコンピュータで使用 できます。

リモートライセンスファイルで指定された期間を超えてライセンスを使用する必要がある場合には、ライセンスファイルを更新するか、別のライセンスファイルを作成します。

将来使用するリモートライセンスファイルの作成方法

開始予定日と終了予定日を指定することにより、将来的に使用するリモートライセンスフ ァイルを作成できます。ユーザーによって将来的にチェックアウトされるライセンスの情報 は、「オフラインライセンス予約要求」ダイアログボックス(「表示」→「予約延長状況」) に表示されます。

🔞 オフラインライセンス	予約要求						×
アプリケーシ バージョン	シリアル	ユーザー	グループタイプ	グループリス	開始日	期限	
QuarkCopyDesk 7.0	DD22345678900	test	Global_Pool		07/11/2007	07/11/2007 真夜中	^
<u><</u>						>	>
含まれるXTensions							
XTensions	13-	-ジョン		シリアル			
AdvancedPalettes	þ.3.5	5		QSX-aa200	1zz		^
<u><</u>				<u> </u>	ッシュ(R)) 開じる(L)	

「オフラインライセンス予約要求」ダイアログボックス

ユーザーが、将来の使用に備えて指定日にチェックアウトされるライセンスの使用を開始す ると、そのライセンスに関連する情報が、「オフラインライセンスチェックアウト」ダイアロ グボックス(「表示」→「延長状況」)に移行します。「オフラインライセンス予約要求」ダ イアログボックス(「表示」→「予約延長状況」)には表示されなくなります。

将来使用するライセンスファイルを作成するには、「**リモートライセンスファイルの作成**」ダ イアログボックス(「**補助」→「リモートライセンスファイルの作成」**)の「カレンダー」コ ントロールを使用して開始予定日と終了予定日を指定します。

リモートライセンスファイルの修正方法

リモートライセンスは修正できます。たとえば、フリーランサーであれば、プロジェクトを 完了するためにさらに時間が必要な場合や、QLA Serverに接続せずに XTensions モジュー ル情報を追加する必要がある場合があります。新しいライセンスファイルを作成するのでは なく、既存のファイルを修正することによって有効期間を延長できます。

リモートライセンスファイルを修正するには、次の手順に従ってください。

 1「補助」→「リモートライセンスファイルの更新」を選択します。「リモートライセンスファ イルの更新」ダイアログボックスが表示されます。

リモートライセンスファイルの	2位直:
リモートライセンスファイル	
License_Administrator/Cli	ent/test/QuarkCopyDesk7.0.dat
アプリケーション情報	
シリアル番号:	
DD22345678900	
アプリケーション名	
QuarkCopyDesk	
バージョン	B
7.0	1
ユーザーの詳細	
ホストID	ユーザー名
123456789000	test
開始日(mm/dd/yyyy)	終了日(mm/dd/yyyy)
07/09/2007	07/09/2007 真夜中

「リモートライセンスファイルの更新」ダイアログボックス

- 2「リモートライセンスファイル」フィールド(「リモートライセンスファイルの位置」領域) で、リモートライセンスファイルを指定します。該当するフィールドにリモートライセンス ファイル情報が表示されます。
- 3 「日」フィールドで、リモートライセンスファイルの有効日数を修正します。
- 4「XTensions」タブをクリックします。リモートライセンスファイルにXTensionsモジュール 情報を記録するには、該当するXTensionsモジュールの「含む」チェックボックスをオンに します。
- リモートライセンスファイルを使用してチェックアウトされたライセンスをチェックインす るには、QLA Serverネットワークに接続する必要があります。以降の手順は、オフライン ライセンスをチェックインするときの作業と似ています。

リモートライセンスファイルを更新するには、使用期限以前に更新します。また、QLAServer がライセンス情報を保持している必要があります。サーバーがライセンス情報を持っている かどうかは、「表示」→「延長状況」または「表示」→「予約オフラインライセンス」で確 認できます。

オフラインライセンスの使用方法

オフラインライセンスグループは、許可されたQuarkアプリケーション、またはQuarkXPress と関連付けられているXTensionsモジュールを使用しているコンピュータをしばらくの間ネ ットワークから切り離しておく必要がある場合に使用します。また、Quarkアプリケーショ ンを起動するたびにQLAServerに接続しないように、ユーザーがオフラインライセンスをチ ェックアウトできるようにすることも可能です。ユーザーがXTensionsモジュールをチェッ クアウトできるようにするには、XTensionsモジュールをQuarkXPressの「XTension」フォ ルダにロードします。

オフラインライセンスのユーザーまたはコンピュータは、リストまたはグループがオフライン ライセンスを使用できるかぎり、予備グループ以外のどのリストまたはグループのメンバー になることもできます。ユーザーまたはコンピュータがオフラインライセンスを要求すると き、QLAは該当するグループからライセンスを消去し、チェックアウト期間中はそのライセ ンスを延長グループに追加します。

オフラインライセンスをチェックアウトできるグループと、オフラインライセンスをチェック アウトできる最大日数を定義します。ライセンスをチェックアウトするときに、ユーザーは チェックアウトする日数を(設定した制限日数を超えない範囲で)指定します。

リストまたはグループがオフラインライセンスをチェックアウトできるかどうか調べるには、 「**ライセンス配布**」領域(「QLA Control Panel」ダイアログボックス→「ライセンスノード」 ダブ)でリストまたはグループを選択し、「編集」をクリックします。「延長チェックアウトを許 可」チェックボックスがオンになっている場合、そのグループは延長チェックアウトできます。

オフラインライセンスは、QuarkXPressとQuarkCopyDeskでのみ使用できます。

QUARKXPRESS用オフラインライセンスのチェックアウト方法

この作業はクライアントコンピュータから実行します。希望に応じて、ユーザーはアドミニ ストレータからの干渉を受けずにこの作業を実行できます。

QuarkXPress用のオフラインライセンスをチェックアウトするには、次の手順に従ってください。

- 1「補助」→「ライセンスのチェックアウト」を選択します。「ライセンスのチェックアウト」ダ イアログボックスが表示されます。
- 2 「ライセンスのチェックアウト」ダイアログボックスで、ユーザーがライセンスをチェックアウトする日数を入力します。
- 3 「警告する」チェックボックスをオンにし、ライセンスがまもなく失効することを伝える電子 メール通知を使用期限の何日前にユーザーに通知するかを入力します。期間は日数、時間 または分で指定できます。
- **4**「**チェックアウト**」をクリックします。このオプションは、ライセンスをオフライングループ ライセンスとして指定します。

サーバーでは、チェックアウト日を暦日で数えます。オフラインライセンスが失効すると、 サーバーはそのライセンスを使用期限日の午前00:01にチェックインします。たとえば、使 用期限日が6月2日の場合、ライセンスは6月2日午前00:01にランカウントグループにチ ェックインされます。ただし、クライアントでは、チェックアウト日を24時間単位で数えま す。使用期限1日間のライセンスが6月1日の午後4:00にチェックアウトされた場合、サー バーはそのライセンスを6月2日午前00:01にランカウントグループに戻します。ただし、手 動でチェックインされないかぎり、ライセンスは午後4:00までリモートコンピュータで使用 できます。

リモートライセンスファイルで指定された期間を超えてライセンスを使用する必要がある場 合には、ライセンスファイルを更新するか、別のライセンスファイルを作成します。

QuarkXPressに対して延長チェックアウトを実行すると、その時点でアプリケーションにロードされたすべてのXTensionsモジュールも延長チェックアウトされ、ローカルでQuarkXPressと共に使用できます。

QUARKXPRESS用オフラインライセンスのチェックイン方法

オフラインライセンスは、クライアントコンピュータから手動でチェックインまたは失効で きます。ライセンス契約のないコンピュータがチェックアウトの期間を監視します。指定し た期間が経過した後にライセンスがチェックインされなかった場合には、そのライセンスが 失効し、Quarkアプリケーションは起動しません。ネットワークでは、サーバーがオフライ ンライセンスを管理し、手動でチェックインされなかったライセンスが期限満了時にそれぞ れのグループに確実にチェックインされるようにします。

ライセンスの手動チェックイン方法

ユーザーがライセンスの使用を終了したら、ノードロックリストやノードロックグループに 登録されている他のユーザーがそのライセンスを利用できるよう速やかにオフラインライセ ンスをチェックインするように促してください。ユーザーはアドミニストレータからの干渉 を受けずにライセンスをチェックインできます。

QuarkXPressからオフラインライセンスをチェックインするには、次の手順に従ってください。

- 1 「補助」→「ライセンスのチェックイン」を選択します。「ライセンスのチェックイン」ダイ アログボックスに、オフラインライセンスの残り日数が表示されます。
- 2 「チェックイン」をクリックします。これにより、XTensionsモジュールのライセンスもチェ ックインされます。

オフライングループライセンス情報の表示

「QLA Control Panel」ダイアログボックスを使用して、チェックアウトされたライセンス のリストや、「QLA Control Panel」ダイアログボックスを通じてチェックアウトされる予 定のライセンスのリストを表示できます。「表示」→「延長状況」を選択します。「オフライン **ライセンスチェックアウト**」ダイアログボックスに、延長グループのユーザーによってチェ ックアウトされたライセンスが表示されます。スーパーアドミニストレータは、チェックア ウトされたすべてのライセンスを表示できます。ローカルアドミニストレータは、すべての グローバルランカウントライセンスと、サブアドミニストレータのグループ/リストを含む 管理下のグループまたはリストからチェックアウトされたライセンスをすべて表示できます。

📦 ライセンスチ	エックアウト						X
アプリケーション	バージョン	シリアル	ユーザー名	グループタイプ	グループリスト名	IPアドレス:ボート	
XPress	7.3	NX12345678901	pansharma	Global_Pool		10.91.43.25	^
く 含まれるXTensions							>
XTensions		バージョン		初日	7 lb		W)
AdvancedPalettes		2.3.5		losx-a	a2001zz		
AdvancedBoxes		1.2.3		QSX-a	1001z		
<.							

「オフラインライセンスチェックアウト」ダイアログボックス

このダイアログボックスには、以下の欄があります。

- アプリケーション: ライセンスがチェックアウトされたアプリケーションが表示されます。
- バージョン:アプリケーションのバージョンが表示されます。
- シリアル:チェックアウトされたライセンスのシリアル番号が表示されます。
- ユーザー: ライセンスをチェックアウトしたユーザー名が表示されます。
- ・グループタイプ: ライセンスの設定対象グループのタイプが表示されます。
- グループリスト名:グループまたはリストの名前が表示されます。
- 開始日: ライセンスがチェックアウトされた日が表示されます。
- 期限:オフラインライセンスが失効する日が表示されます。
- 含まれるXTensions: QuarkXPressと関連付けられているXTensionsモジュールの数が表示 されます。

「オフラインライセンスチェックアウト」ダイアログボックスのデータを更新するには、「リフ レッシュ」をクリックします。



オフラインライセンスは、QuarkXPressとQuarkCopyDeskでのみ使用できます。

予備グループを使用してランカウントを増やす方法

購入した数よりも多くのライセンスが必要で、追加発注する時間がない場合には、予備グ ループを使用できます。

予備グループのライセンスを使用するには、ライセンスをもう1つ購入する契約を交わしま す。予備ライセンスを使用するとき、電子メールメッセージがQuark社とユーザーの経理担 当部署に送信されます。それにより、Quark社は追加のライセンスに対する請求を行なうこ とになります。

予備ライセンスの使用ガイドラインや予備ライセンスの資格取得情報については、Quark社 にお問い合わせください。

スーパーアドミニストレータのみが予備ライセンスを受理できます。予備ライセンス用のグ ループおよびリストを作成することはできません。

予備ライセンスの設定方法

予備ライセンスを設定するには、次の手順に従ってください。

1「QLAControl Panel」ダイアログボックスを開き、「ユーザーパラメータ」タブをクリック します。

	ライセンスノード	ユーザーバラメータ	7 設定オ	ブション	電子メー	ル通知	
ライセンス設定							
アプリケーション	シリア	ル番号	バージョン	予備ライ	センス	予備期間	承認
DMS 2.0.US.WIN	DD22345678900	1	2.00		752	1	0
DMS 2.0.US.WIN	NX12345678901		2.00		752		0
DMS 2.0.US.WIN	NW12345678901		2.00		752		0
Quark Dynamic Docum	nerKS12345678901		1.00		502		0
Quark XPress	DT12345678901		1.00		502		0
Quark Dynamic Docun	neiAB12345678901		1.00		5060		0
Quark Dynamic Docun	nerCU12345678901		1.00		5060		0
Quark Dynamic Docum	nerCD12345678901		1.00		5060		0
OPS Classic 3.0	DS12345678901		3.0		5060		0
OPS Classic 3.0	DU12345678901		3.0		5060		0
Quark Dynamic Docum	neiAB54656576736		1.00	50 60		0	
Quark Dynamic Docun	nerWX12345678901		1.00	50 60			0 9
Quark Dynamic DocumerXY12345678901			1.00	50 60			0
Quark Dynamic Docum		1 00		50.60		0	
サイト情報							
電子メール サーバー名		システム管理者	の電子メー	ルアドレス	•		
10.91.0.200		pansharma@q	pansharma@quark.com			追加	
	設定	0					編集
							削除

「ライセンス設定」領域(「QLA Control Panel」→「ユーザーパラメータ」)

2 「ライセンス設定」領域で、予備ライセンスを必要とするアプリケーション選択して、 … を クリックします。「予備のライセンス受理」ダイアログボックスが表示されます。 3 購入する予備ライセンス数を入力し、「OK」をクリックします。

入力する値は、「**ユーザーパラメータ**」タブの「**予備ライセンス**」欄の値を超えることはでき ません。ユーザーに既にチェックアウトした予備ライセンスがある場合、チェックアウトし た予備ライセンス数よりも小さい値を設定することはできません。

- 4 追加のライセンスに対する請求が生じるという警告が表示されたら、「OK」をクリックします。 「ユーザーパラメータ」タブでは、使用する予備ライセンスの新しい数を反映して「承認」欄が更新されます。
- 「予備のライセンス受理」ダイアログボックスで入力した予備ライセンス数が適当でない場合、QLAは予備ライセンスの最大許可数を表示します。

予備ライセンスを取得するのに、特別な手順を実行する必要はありません。「予備のライセンス受理」ダイアログボックスに使用可能なライセンスが表示されると、追加ユーザーが Quarkアプリケーションを起動するときに、そのアプリケーションのライセンスがすべて使用 されている場合に予備ライセンスが自動的に許諾されます。

ライセンスチェックアウト状況の表示

アプリケーション用にチェックアウトされるライセンスのリストは、いつでも表示できます。 「**ライセンスチェックアウト**」ダイアログボックスに、アプリケーションのリスト、ライセン スをチェックアウトしたユーザーの名前、およびチェックアウト先のIPアドレスやポート番 号が表示されます。スーパーアドミニストレータは、チェックアウトされたすべてのライセ ンスを表示できます。ローカルアドミニストレータは、グローバルランカウントライセンス と、管理下のグループ/リスト(ローカルアドミニストレータおよび全サブアドミニストレ ータのグループ/リスト)からチェックアウトされたライセンスのすべてを表示できます。

「表示」→「チェックアウト状況」(Mac OSではControl+K、WindowsではCtrl+K)を選択 し、「ライセンスチェックアウト」ダイアログボックスを表示します。

🐨 ライセンス-	チェックアウ	5					X
アプリケーション	バージョン	シリアル	ユーザー名	グループタイプ	グループリスト名	IPアドレス:ポート	
XPress	7,3	NX12345678901	pansharma	Global_Pool		10.91.43.25	^
く 含まれるXTensions							>
XTensions		パージョン	,	<u> </u>	アル		
AdvancedPalettes		2.3.5		QSX-	aa2001zz		~
AdvancedBoxes		1.2.3		QSX-	a1001z		~
					リフレッシュ(R)	開じる	

「ライセンスチェックアウト」ダイアログボックス

このダイアログボックスには、以下の欄が表示されます。

- アプリケーション: ライセンスがチェックアウトされたアプリケーションが表示されます。
- バージョン:アプリケーションのバージョンが表示されます。
- シリアル:チェックアウトされたライセンスのシリアル番号が表示されます。
- ユーザー名: ライセンスをチェックアウトしたユーザー名が表示されます。
- グループタイプ: ライセンスの設定対象グループのタイプが表示されます。
- グループリスト名:グループの名前が表示されます。
- IPアドレス:ポート: ライセンスを使用しているコンピュータのIPアドレスとポート番号が 表示されます。
- 含まれるXTensions:アプリケーションと関連付けられているXTensionsモジュールが表示 されます。

「**ライセンスチェックアウト状況**」ダイアログボックスのデータを更新するには、「**リフレッ** シュ」をクリックします。

システムログによるライセンスアクティビティの監視

QLA Control Panelを使用して、クライアントコンピュータ間のライセンスの使用をサーバ ーが規制する方法を指定できます。スーパーアドミニストレータの場合は、QLAを使用して いるQuarkアプリケーションのライセンス使用状況に関する情報を表示することもできます。 ログを表示し、エラーとイベントログのレベルを設定できます。選択可能な5つのレベルか ら、ワークフローでの重要性に基づき、異なるエラーとイベントに対して異なるレベルを選 択できます。レベル1は優先順位が最も高いイベントを対象とし、レベル5はすべてのイベ ントが対象となります。QLAで発生する問題を解決するために、システムログのユーザー情 報を設定できます。ただし、このような権限はスーパーアドミニストレータにのみ与えられ ています。QLAのトラブルシューティングの詳細については、「付録A」をご参照ください。

QUARK LICENSE ADMINISTRATORアクティビティの監視

システムログには、クライアントコンピュータ間のライセンス使用状況アクティビティに関 する情報が保存されます。システムログには、発生したイベントと、システムが発行した警 告および生成したエラーについての情報が記録されます。QLAのログビュアーを使用してロ グ情報にアクセスしたり、サーバーに保存されているシステムログテキストファイルを開い たりすることができます。

「ログオプション」ダイアログボックスを使用して、QLAで監視するアクティビティの選択、 そのアクティビティの記録をQLAが保有する期間の指定、使用状況アクティビティの優先 レベルの設定ができます。

00	ログオプション	5	
閲覧オプション-			
イベント	☑ 警告		リ エラー
ログオプション-			
🗹 イベント	☑ 警告		リ エラー
終了オプション-			
	ログ終了の期限日数:	7	•
	最大ログサイズ(64KB単位):	320	•
	ログレベル:	3	
┌使用状況のオプシ	/ョン		
Ę	イセンス使用状況を表示(日数	30	D
	(ОК)		キャンセル(C)

「**ログオプション」**ダイアログボックス

システムログのパラメータを指定するには、次の手順に従ってください。

- 1 「QLA Control Panel」ダイアログボックスで、「表示」→「ログオプション」(Mac OSで はControl+O、WindowsではCtrl+O)を選択します。「ログオプション」ダイアログボック スが表示されます。
- **2**「閲覧オプション」領域で、システムログ画面に表示するシステム情報のタイプを選択します。 「イベント」、「警告」、「エラー」を任意の組み合わせで記録できます。
- 「イベント」チェックボックスをオンにすると、システムログに保存されているイベントが表示されます。イベントは、QLAに影響するネットワーク上の現象で、イベントが発生するとQLAがエントリーを記録します。イベントリストは、ライセンスネットワーク内のアクティビティを監視したり、問題の原因を特定したりするのに役立ちます。
- 「警告」チェックボックスをオンにすると、システムログに記録された警告が表示されます。
- 「エラー」チェックボックスをオンにすると、システムログに記録されているエラーが表示されます。
- 3 「ログオプション」領域で、システムログに保存する情報のタイプを選択します。システム ログは、サーバーの「QLA.log」ファイルに保存されます。「イベント」、「警告」、「エラー」 を任意の組み合わせで記録できます。
- 4「終了オプション」領域で適宜変更します。
- 「ログ終了の期限日数」フィールドに、イベント、警告、またはエラーがログに保存されて から削除されるまでの日数を入力します。
- ログファイルに使用可能な最大サイズを「最大ログサイズ(64KB単位)」フィールドに入力します。このサイズは64KB単位で入力してください。ログファイルがこのサイズを超えると、システムがファイル名を「QLAOld.log」に変更してサーバーに保存し、別のログファイルを作成します。
- 「ログレベル」フィールドにログレベルを入力します。このレベルに基づいて、エラーがログ ファイルに保存されます。
- **5**「OK」をクリックします。

イベント、警告、およびエラーの詳細については、「付録A」をご参照ください。

システムログへのアクセス方法

システムログへのアクセス方法は2つあります。「Server」フォルダにある「QLA.log」というテキストファイルを開く方法と、「ログビュアー」ダイアログボックスを使用してログ情報 を表示する方法です。

システムログファイルを開く方法

システムログファイルを開くには、QLA Serverで「QLA.log」テキストファイルをダブルク リックします。システムログファイルが、タブ区切り形式で表示されます。 「ログビュアー」ダイアログボックスを使用してシステムログを表示する方法

「ログビュアー」ダイアログボックスを使用して、「QLA.log」ファイルよりも整然としたレ イアウトでログを表示できます。「ログビュアー」ダイアログボックスにシステムログを表示 するには、次の手順に従ってください。

1 「QLA Control Panel」ダイアログボックスで、「表示」→「システムログ」(Mac OSでは Control+L、WindowsではCtrl+L)を選択します。「ログビュアー」ダイアログボックスが 表示されます。

💹 ログビュアー			×
ソースの選択: 全てのソース	N		~
	NC .		
┌ ^{ログエントリー} ────			
強制レ 日付	ソース	ログメッセージ	
🚡 イベント 2007/06/14 18:13	XPress	オフラインライセンスがチェックイン	~
🚡 イベント 2007/06/14 18:13	QLA Primary Server	オフラインライセンスのチェックイン	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	アプリケーションからライセンスキー	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	オフラインライセンスが与えられまし	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	QLA Primary Server	ユーザーが以下のオフラインライセン	
🛓 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	サーバーからライセンスが与えられま	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	QLA Primary Server	XTensionsモジュールのライセンスが	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	サーバーは検証済みです。	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	サーバーからライセンスが与えられま	
🖢 イベント 2007/06/14 18:12	QLA Primary Server	XTensionsモジュールのライセンスが	
🛓 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	サーバーは検証済みです。	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	サーバーからライセンスが与えられま	
🦹 イベント 2007/06/14 18:12	QLA Primary Server	ライセンスのチェックアウト完了:XP	
🛓 イベント 2007/06/14 18:12	XPress	サーバーは検証済みです。	
S エラー 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	電子メールの送信中にエラーが発生し	
🦹 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	リモートライセンスファイルがFri Jun	
撞 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	XTensionsソフトウェアライセンスの	
🦹 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	XTensionsソフトウェアライセンスの	
🦹 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	キューに追加された予約ライセンスを	
🧕 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	修復モード終了。	
Subset State	QLA Primary Server	電子メールの送信中にエラーが発生し	
🦹 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	リモートライセンスファイルがFriJun	
🦹 イベント 2007/06/14 18:09	QLA Primary Server	キューに追加された予約ライセンスを	
🦹 イベント 2007/06/14 17:59	QLA Primary Server	ローカルの管理者ユーザー1111の作	
🦹 イベント 2007/06/14 17:51	QLA Primary Server	クライアントadminがログオンしまし	
🧕 イベント 2007/06/14 17:45	QLA Primary Server	クライアントadminがログオンしまし	
A 警告 2007/06/14 17:44	QLA Primary Server	コントロールパネルクライアントへの	
1 イベント 2007/06/14 17:44	QLA Primary Server	QLA User Managerの初期化に成功し	
1 イベント 2007/06/14 17:44	QLA Primary Server	HWMUsage.datの初期化中。	
1ベント 2007/06/14 17:44	QLA Primary Server	RemoteCheckoutPoolの初期化中。	
1ベント 2007/06/14 17:44	QLA Primary Server	QLANotificationフロバティファイルの	
<u>∎</u> イベント 2007/06/14 17:44	QLA Primary Server	QLAServerフロバティファイルの初期	<u>~</u>
	オブション(0)	リフレッジュ(R) 問じる(C)	

「**ログビュアー」**ダイアログボックス

「ログオプション」ダイアログボックス(「表示」→「ログオプション」)での設定に従って 「ログエントリー」領域にログ情報が表示されます。

- ・強制レベル:各ログエントリーのアクティビティタイプ(イベント、警告、またはエラー) が表示されます。
- 日付:アクティビティが記録された日付と時刻が表示されます。
- ソース:アクティビティが発生したアプリケーションが表示されます。
- **ログメッセージ**:イベント、警告、またはエラーが表示されます。

- 2 「ソースの選択」ドロップダウンメニューでオプションを選択し、ログの適用範囲を指示し ます。
- •「すべてのソース」を選択すると、QLAからのメッセージと、許諾されたQuark製品が表示 されます。
- 「QLAプライマリサーバー」を選択すると、QLA Serverからのメッセージのみが表示されます。
- [XPress」を選択すると、QuarkXPressのメッセージのみが表示されます。
- 「QuarkCopyDesk」を選択すると、QuarkCopyDeskのメッセージのみが表示されます。
- 3 「リフレッシュ」をクリックして、ログエントリーを更新します。
- 4「オプション」をクリックして、「ログオプション」ダイアログボックスを表示します。ここで ログプリファレンスを編集できます。
- 5 「閉じる」 をクリックして「ログビュアー」 ダイアログボックスを閉じます。

イベント、警告、およびエラーの詳細については、「付録A」をご参照ください。

第4章 通知および警告

通知または警告は、潜在的な問題をユーザーに知らせ、解決方法の準備を促します。 QLA Serverは、QLAアドミニストレータとユーザーの両方に各種通知を生成し、通 知に応じて全員がライセンスの使用を計画できるようにしています。本章では、通知 と警告、およびその目的について詳しく説明します。

プライマリサーバーが使用不可

プライマリQLA Serverが応答を停止した場合に、この通知は、プライマリサーバーが使用 できず、バックアップサーバーがアクティブであることを伝えます。プライマリサーバーを 起動する措置をただちに実施して、バックアップサーバーに現在保存されている情報を確実 に保護します。この通知は、現場でプライマリサーバーとバックアップサーバーの両方が設 定されている場合にかぎり生成されます。

プライマリサーバーが使用可能

この通知は、プライマリサーバーが使用可能かつアクティブであることを伝えます。

バックアップサーバーが使用不可

QLAバックアップサーバーが応答を停止した場合に、この通知は、バックアップサーバーが 応答しておらず、プライマリサーバーのみが作動していることを伝えます。バックアップサ ーバーを再起動するための措置をただちに実施して、自動フォールバックメカニズムが常に 機能している状態にします。この通知は、現場でプライマリサーバーとバックアップサーバ ーの両方が設定されている場合にかざり生成されます。

バックアップサーバーが使用可能

この通知は、バックアップサーバーが現在使用可能であることを伝えます。

全ランカウントに対する所定の割合に達したライセンス使用状況

この通知は、特定のシリアル番号のライセンス使用率が、全ランカウントに対する所定の割 合に達したことを伝えます。この通知により、残りのライセンスの使用を計画して、ライセ ンスを必要とするユーザーが確実に使えるように調整できます。この割合は、QLA Control Panelで設定します。デフォルト値は全ランカウントの80パーセントです。

所定の割り当て日数に達したリモートチェックアウトライセンス

この通知は、アプリケーションユーザー(QuarkXPressユーザーなど)に送信されます。こ の通知は、ライセンスに割り当てられた期間が所定の日数に達したことをアプリケーション ユーザーに伝え、ライセンスが失効するまでの残り時間を表示します。ライセンスの期間を 延長するには、ライセンスの更新を要求できます。QLAControl Panelを使用して、この通知 が生成されるライセンス使用率を設定できます。

失効間近の期間限定ライセンス

ー部のユーザーが期間限定ライセンスファイルを使用している場合には、アプリケーション の失効が近いことを警告するための通知を失効日の何日前にユーザーに送信するかを設定 できます。

所定の割り当て日数に達したライセンスファイル

ライセンスファイルの失効が近いことを警告する通知が送信され、残り時間が表示されます。

付録 ヘトラブルシューティング

優れた設計のソフトウェアでも不具合が生じることがあります。QLAは、不具合が発 生しても速やかに復旧できる機能を備えています。以下に、QLAの使用中に生じる 可能性のある問題と、それぞれの問題を解決する方法を説明します。

問題と解決方法

サーバーハードドライブのエラー

ハードドライブにエラーが生じた場合には、サーバーコンピュータを復元し、QLA Serverソフトウェアを再インストールします。Quark 社ウェブサイトから新しい「QLALicense.dat」ファイルをダウンロードしてください。

許諾されたQUARK製品の再インストール

QLAを使用するQuarkアプリケーション(QuarkXPress、QuarkDMS、QuarkDDSなど)を 再インストールする場合は、QLA Server用のIPアドレスおよびポート番号などの情報が必 要です。この情報は、ハードドライブの「Quark_License_Administrator」フォルダ内の 「Client」フォルダに格納されている「QLAControlLog.properties」ファイルにあります。 QLA Serverは、アプリケーションとして実行するときにもこの情報を表示します。

QLAServerソフトウェアを新しいコンピュータに再インストールする場合は、すべてのクラ イアントコンピュータの「QLAControlLog.properties」ファイルを編集し、新しいIPアドレ スとポート番号を反映する必要があります。「QLAControlLog.properties」ファイルの編集 については、本書の「付録B」をご参照ください。

ポート番号の変更

QLA Server用のポート番号を変更する場合には、Quark 社ウェブサイトにアクセスし、新 しい「QLALicense.dat」ファイルをダウンロードして、各クライアントコンピュータの 「QLAControlLog.properties」ファイル(QLAControl Panelフォルダ内にあります)のポー ト番号情報を修正します。Quarkアプリケーションを起動しているコンピュータの 「QLAClient.properties」ファイルのポート番号も変更してください。「QLAControlLog.properties」ファイルの編集については、本書の「付録B」の「サーバー名またはポート番号の変 更」をご参照ください。

システムログを使用したトラブルシューティング

ライセンス管理システムで発生したトラブルの原因を見つけるための情報源として、システ ムログを使用できます。システムログ(「表示」→「システムログ」)を表示することにより、 発生したイベント、警告およびエラーに関する情報を参照できます。記録できるアクティビ ティと、記録したアクティビティをトラブルシューティングに使用する方法を以下に示しま す。システムログの設定については、第3章「ライセンス管理」の「システムログによるラ イセンスアクティビティの監視」をご参照ください。

QLA Serverは、システムログに加え、「QLAException.log」という名前の別のログも生成します。このログは、各種問題、イベント、警告、およびエラーを記録します。このログは、ハードドライブの「Quark License Administrator」フォルダの「Server」フォルダにあります。

エラー

以下のようなエラーがシステムログに表示されます。

表示メッセージ	メッセージの意味
通信エラーにより、クライアントはサーバ ーへ接続できませんでした。	クライアントがサーバーと通信しようとしたときに 問題が発生しました。
サーバーへの接続中に接続エラーが発生し ました。	クライアントはサーバーに接続できませんでした。
すべてのライセンスは期限切れです: {ア プリケーション} {バージョン} {シリアル 番号} {ポート}	指定したアプリケーションのライセンスの期限が切 れました。
すべてのライセンスの割り当てが完了して います: {アプリケーション} {バージョン} {シリアル番号} {ポート}	指定したアプリケーションに対して、有効なライセ ンスがありません。
空白ログを取得しました。	ログにエントリーが存在しません。
Quarkサーバーの認証中にエラーが発生し ました。	Quarkサーバーは認証に必要な通信暗号化テストに 合格しませんでした。
交信タイマーの初期化中にエラーが発生し ました。	交信は、タイマーによって所定の規則正しい間隔 で実行されます。タイマーの初期化中にエラーが発 生しました。
オフラインライセンスリストの取得中にエ ラーが発生しました。	サーバーがオフラインライセンスリストを取得でき ませんでした。

表示メッセージ	メッセージの意味
ライセンスファイルの保存中にエラーが発 生しました。	サーバーがライセンスファイルの保存に失敗しまし た。この問題により、以下の不具合が生じる可能 性があります。将来のチェックアウト/リモートチ ェックアウトの失敗。サーバー使用時の他のエラー の発生。サーバーのシャットダウンまたは起動時に おける初期化の例外。
予備ライセンスデータの同期中にエラーが 発生しました。	予備ライセンス使用状況情報がQuark社に正常に 転送されませんでした。
サーバーの接続中に例外が発生しました。	サーバーへの接続中に例外が発生しました。
サーバーのグループを更新中に例外が発生 しました。	サーバーにある情報とクライアントが実行した情報 の間に矛盾が存在したため、このグループはQLA Control Panelで更新できませんでした。
チェックアウトリストの取得中に例外が発 生しました。	チェックアウトリストをサーバーから取得できませ んでした(QLAServerが起動していなかったか、他 の不具合が生じたため)。
延長チェックアウトリストの取得中に例外 が発生しました。	延長チェックアウトリストをサーバーから取得でき ませんでした(QLA Serverが起動していなかった か、他の例外が生じたため)。
QLA Serverと接続しようとした時に例外 が発生しました。	クライアントがサーバーに接続できませんでした。
使用可能なランカウントライセンス数を取 得しようとした時に例外が発生しました。	サーバーがランカウントライセンスリストを取得で きませんでした。
ライセンスファイルへのデータ保存中にエ ラーが発生しました。	ライセンスファイルへの書き込みができませんでし た。書き込まれなかった変更内容は失われます。
ノードロックグループからの削除を確認中 に例外が発生しました。	一部のライセンスがグループからチェックアウトさ れていたため、グループから名前を削除できません でした。
ユーザー最大数情報の確認中に例外が発 生しました。	ユーザーが使用できるライセンス最大数を確認して いるときに問題が発生しました(ユーザーが、指定 した数を上回る予備ライセンスをチェックアウトし ました)。

エラー 📃

表示メッセージ	メッセージの意味
削除するユーザーまたはコンピュータの確 認中に例外が発生しました。	削除しようとしたユーザーまたはコンピュータがラ イセンスをチェックアウトしていたか、存在しません。
内部エラーが発生しました。オフラインラ イセンスが転送できませんでした。	QLAが、延長グループへのライセンス追加、延長 グループからのライセンス消去、またはオフライン ライセンスグループの保存に失敗しました。ライセ ンスは有効ですが、このエラーのため、使用できる オフラインライセンスはありません。
ユーザー名ファイルの読み込み中に例外I/O が発生しました。	ユーザー名ファイルからの読み込みができませんで した。
ライセンス使用状況データの送信中に例外 I/Oが発生しました。	ライセンスファイルへの書き込みができませんでし た。書き込まれなかった変更内容は失われます。
QLA Serverの認証に失敗しました。あるい はQLA Serverは既に作動中です。	既に起動しているサーバーを起動しようとしたか、 認証エラーのため、サーバーが接続できませんで した。
チェックインのエラーメッセージ	チェックインのエラーが発生すると、メッセージに その理由が表示されます。
チェックアウトのエラーメッセージ	チェックアウトのエラーが発生すると、メッセージ にその理由が表示されます。
ライセンス/プロパティファイルのデータ か読み取れませんでした。	ライセンスファイルまたは1つのプロパティファイ ルを読み取れませんでした。
プロパティファイルにデータを保存しよう とした時の例外。	プロパティファイルへの書き込みができませんでし た。書き込まれなかった変更内容は失われます。
ファイルが見つからない例外 — ユーザー 名ファイルが見つかりませんでした。	ユーザー名ファイルが見つかりませんでした。
 交信エラーメッセージ	交信エラーが発生すると、メッセージにその理由が 表示されます。
サーバーへの交信に失敗しました。	クライアントはサーバーにこれ以上交信を送信でき ません。
内部エラー―指定したライセンスIDのアプ リケーション情報が見つかりません。	このライセンスと関連付けられているアプリケーシ ョン情報がありません。
 内部エラー — ライセンスエレメント内の ロックタイプが無効です。	このライセンスに無効なロックタイプが関連付けら れています。

表示メッセージ	メッセージの意味
内部エラー — ライセンスエレメント内の グループタイプが無効です。	このライセンスに無効なグループが関連付けられて います。
内部エラー―指定したライセンスIDのノー ドロック情報が見つかりません。	このライセンスに関連付けられているノードロック 情報がありません。
内部エラー — オフラインライセンスエレ メントを加算できません。	オフラインライセンス数を正しく増やすことができ ませんでした。
無効なアプリケーション名およびバー ジョン。	ユーザーが入力したアプリケーション名とバージョ ンの組み合せがライセンスファイルに存在しません。
ライセンスファイルは無効です。	ライセンスファイルが変更されているか、破損して います。
サーバーへ送られたライセンスファイルパ スは無効です。	ライセンスファイルへのパスが初期化時に指定され ないと、サーバーは起動できません。
サーバーに無効なノードロック情報が送信 されました。	サーバーがクライアントから正しいノードロック情 報を受信しませんでした。
無効なシリアル番号: {シリアル番号 {ポ ート}	このシリアル番号がQLAに登録されていません。
無効なセッションキーがサーバーに渡され ました。	クライアントとサーバー間には、「セッションキー」 によって識別される固有のセッションがあります。 クライアントが無効なセッションキーをサーバーに 送信しようとしました。
例外I/Oエラー	入力または出力エラーが発生しました。
例外I/O — ユーザー名ファイルの書込 み中。	ユーザー名ファイルへの書き込みができませんでし た。書き込まれなかった変更内容は失われます。
ライセンスIDが無効です。	ライセンスIDが有効ではありません。
ライセンスキーが存在しないシリアル番号。	シリアル番号に対するライセンスキーが存在しません。
ライセンス再請求失敗のメッセージ	ライセンス再請求が失敗した場合に、使用されて いなかったライセンスの再請求に失敗した理由が警 告に表示されます。
{リモートチェックアウト失敗のメッセージ}	リモートチェックアウトに失敗した場合に、メッセ ージにその理由が表示されます。
{リモートチェックイン失敗再請求メッセ ージ}	リモートチェックインのエラーが発生した場合に、 メッセージにその理由が表示されます。

エラー 📃

表示メッセージ	メッセージの意味
サーバーを初期化できませんでした。	QLA Serverが正常に初期化されませんでした。
そのコントロールパネルクライアントは無 効です。	QLA Control Panelソフトウェアで内部エラーが発生 しました。
オフラインライセンスがチェックインでき ませんでした。	クライアントがオフラインライセンスをチェックイ ンできませんでした。
サーバーは認証できませんでした。	サーバーが認証プロセスに失敗しました。
サーバーオブジェクトは初期化されていま せん。	サーバーが初期化できませんでした。
ユーザー名ファイルが見つかりませんで した。	ユーザー名を含むファイルが見つかりませんでした。
このクライアントはライセンスをチェック インできませんでした。	クライアントがライセンスをチェックインできませ んでした。
QLAServerへ接続できません。	クライアントがサーバーに接続できませんでした。
減算できないアプリケーション: {アプリケ ーション} {バージョン}	アプリケーションのライセンス数を減らすことがで きませんでした。
シリアル番号のサーバーからライセンスキ ーを取得することができません。	サーバーからシリアル番号のライセンスキーを取得 するときにエラーが発生しました。
ORBを初期化できません。	QLA Serverは、Object Resource Broker(ORB)を 使用して通信できることを前提としています。ORB が正常に初期化されませんでした。
そのライセンスファイルからは読み込めま せん。	ライセンスデータが記録されているファイルが読み 込めません。
ライセンスキーを付与できないシリアル 番号。	サーバーからシリアル番号のライセンスキーを設定 するときにエラーが発生しました。
[Appl.Name] [Appl.Version] [Serial Number][clientIPPort]に関するライセンス はすべてリストで予約されています。	アプリケーションに関するライセンスがすべてグル ープまたはリストで予約されています。
ノードロックチェックインに失敗しました。	ノードロックチェックインに失敗しました。
リモートライセンスファイルが壊れてい ます。	リモートライセンスファイルが破損しています。
表示メッセージ	メッセージの意味
---	--
このライセンスファイルのIPアドレスまた はホスト名が無効です。	そのライセンスファイルのホストIDまたはIPアド レスが無効です。
このファイルのIPアドレスは無効です。	そのライセンスファイルのIPアドレスが無効です。
入力したIPアドレスは存在しません。	そのライセンスファイルのIPアドレスがネットワ ークに存在しません。
このライセンスファイルのホスト名は無効 です。	そのライセンスファイルのホストIDが無効です。
ライセンスファイルが存在しません。	ライセンスファイルが見つかりませんでした。
ライセンスファイルが破損しています。	ライセンスファイルが破損しています。
QLA User Managerの初期化に失敗しま した。	QLA User Managerが初期化されませんでした。
ローカル管理ユーザーを作成できません。	ローカル管理ユーザーを作成するときにエラーが 発生しました。
ユーザーのパスワードを変更中にエラーが 発生しました。	ユーザーのパスワードを変更するときにエラーが 発生しました。
電子メールサーバーの設定中にエラーが発 生しました。	システムは電子メールサーバーを設定できません でした。
電子メールの送信中にエラーが発生しま した。	システムが電子メールメッセージを送信している ときにエラーが発生しました。
ライセンスファイルのホスト名は無効で す:ご使用のライセンスファイルのホスト 名はご使用のマシンのホスト名と合致しま せん。	そのライセンスファイルのホストIDが無効です。
コンピュータがネットワークに含まれてい ないか、IPアドレスが変更されています。	コンピュータがネットワーク上に存在しないか、IP アドレスが変更されています。

イベント

以下のようなイベントがシステムログに表示されます。

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
ライセンスのチェックアウト完了: {アプリケーション} {バージョン} {シリ アル番号 {ユーザー名} ホストID} ポ ート} {ソース:ソース名}	クライアントがアプリケーションのラ イセンスを正常にチェックアウトしま した。	1
ライセンスのチェックイン完了: \アプ リケーション \	指定したアプリケーションのライセン スがチェックインされました。	1
ライセンスをチェックアウトしたクラ イアント: ユーザー名	指定したユーザーがライセンスをチェ ックアウトしました。	1
予備ライセンスのチェックアウト完 了: {アプリケーション} {バージョン} {シリアル番号} {ユーザー名} {ホスト ID}	クライアントがアプリケーションの予備 ライセンスをチェックアウトしました。	1
オフラインライセンスのチェックイン 完了: アプリケーション バージョン シリアル番号 ユーザー名 ホスト ID	指定したアプリケーションのオフラ インライセンスがチェックインされ ました。	1
オフラインライセンスのチェックアウ ト完了: アプリケーション バージ ョン シリアル番号 ユーザー名 ホストID	指定したアプリケーションのオフライ ンライセンスがチェックアウトされま した。	1
オフラインライセンスが与えられま した。	サーバーがオフラインライセンスを割 り当てました。	1
オフラインライセンスは与えらえてい ません。	サーバーがオフラインライセンスを割 り当てませんでした。	1
コントロールパネルクライアントへの ログオン中に、無効なパスワードが入 力されました。	 ログオンのときに無効なパスワードが 入力されました。	2



表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
QLAClientの認証が完了しました。	QLAServerとクライアントが正常に接 続しました。	5
修復モード終了。	修復処理が完了しました。	2
オフラインライセンスリストが正常に 取得されました。	サーバーがオフラインライセンスリス トを取得しました。	4
交信オプションが正常に取得されま した。	サーバーがプロパティファイルに保存 されている交信オプションを取得しま した。	4
アプリケーション情報が無効であるか、 または有効ランカウントライセンスが ありません。	クライアントから送信されたアプリケ ーション情報が間違っていたか、送信 されたアプリケーション情報で使用で きるランカウントライセンスがありま せん。	1
修復グループからのライセンス移行が 完了しました。	サーバーが修復グループからライセン スを正常に移行しました。	5
ライセンスが再請求されました。	サーバーがクライアントのライセンス を再請求しています。	
ライセンスキーリストを取得しました。	そのシリアル番号のアプリケーション のライセンスキーが取得されました。	1
HWMUsage.datの初期化中。リモー トCheckoutPoolの初期化中。 QLANotificationプロパティファイル の初期化中。QLA Serverプロパティ ファイルの初期化中。プライマリサー バーが起動中。 サーバーIPアドレス <ip> サーバーボート<port> Ethernetアドレス<hostid></hostid></port></ip>	サーバーオブジェクトがすべて初期化 され、クライアントからの要求を受け ることができます。	
ライセンスキーを付与したシリアル 番号。	そのシリアル番号用のライセンスキー が設定されました。	5
オフラインライセンスがチェックイン されました。	 ユーザーがオフラインライセンスをチ ェックインしました。	1

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
ライセンスカウントが正常に取得され ました。	サーバーは特定のシリアル番号で使 用する正しいライセンス数を取得し ました。	5
ログコンポーネントが正常に初期化さ れました。	システムログが初期化されました。	1
Quarkサーバーは認証済みです。	Quarkサーバーが正しい暗号化情報を 提供し、認証されました。	5
サーバーのチェックイン応答は問題あ りません。	ユーザーがライセンスをチェックイン しました。	1
サーバーはライセンスを与えていま せん。	サーバーがライセンスを割り当てませ んでした。	1
サーバーはライセンスを与えました。	サーバーがライセンスを割り当てま した。	1
サーバーは認証済みです。	Quarkサーバーが正しい暗号化情報を 提供し、認証されました。	1
サーバーは正常にシャットダウンされ ました。	ユーザーがサーバーをシャットダウン しました。	1
ライセンス入手の前に予約リモートラ イセンスファイルが失効しました。ラ イセンスは再請求中です。	将来の使用のために予約されたリモー トライセンスファイルがライセンスを 取得できませんでした。QLAがライセ ンスを再請求しています。	1
キューに追加された予約ライセンスを 要求します[ApplName][ApplVersion] [SerialNumber][UserName][HostID]。	将来使用するためのライセンスの要求 がキューに追加されました。このライ センスは後でアクティブになります。	2
予約ライセンスがチェックアウトされ ました。	将来使用するライセンスの要求が有効 になりました。	1
QLANotificationプロパティファイル の初期化中。	「QLANotificationプロパティ」ファイ ルが初期化されました。	1
HWMUsage.datの初期化中。	「予備ライセンス使用状況」ファイル が初期化されました。	1

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
RemoteCheckoutPoolの初期化中。	リモートチェックアウトグループが初 期化中です。	1
QLA Serverプロパティファイルの初期 化中。	「QLA Serverプロパティ」ファイルが 初期化されました。	1
予約ライセンスの要求が更新されま した <applname> <applversion> <serialnum> <username> <hostid>。</hostid></username></serialnum></applversion></applname>	予約ライセンスの要求が更新されま した。	2
ノードロックチェックアウトに成功し ました。 アプリケーション名 ホス トID シリアル番号 ユーザー名	ノードロックチェックアウトに成功し ました。	1
Ethernetアドレス <hostid>はご使用中 のマシンに設定されています。</hostid>	そのマシンのEthernetアドレスは [ホ ストID] です。	1
システムは緊急キー起動を行なってい ます。	システムが緊急キー起動機能を使用し て起動しています。	1
バックアップサーバーが作動中です。	バックアップサーバーが作動中です。	1
プライマリサーバーが作動中です。	プライマリサーバーが作動中です。	1
サーバーがシャットダウン中です。	サーバーがシャットダウンしています。	1
<user>のパスワードは変更されてい ます。</user>	パスワードが変更されました。	2
ライセンスがそれ以前に失効するため、 この日付でのライセンス予約はできま せん。	ライセンスがそれ以前に失効するため、 指定した日付でのライセンス予約はで きません。	2
ライセンスは予約されませんでした。	予約ライセンスが予約されませんで した。	2
QLA User Managerの初期化に成功しました。	QLA User Managerが初期化されま した。	2
クライアント(<control client<br="" panel="">login name>)がログオンしました。</control>	クライアントがログオンできました。	2
ユーザーのグループは追加、編集、ま たは削除されています。	このユーザーのグループが追加、編集、 または削除されました。	3

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
グループ/リストが追加されました。	このユーザーの新しいグループまたは リストが追加されました。	3
グループ/リストが削除されました。	グループまたはリストが削除されま した。	3
グループ/リストが更新されました。	グループまたはリストが更新されま した。	3
ローカルの管理者ユーザー ユーザー 名 が正常に作成されました。	ローカルの管理者ユーザーが作成され ました。	3
ローカルの管理者ユーザー <admin username>が削除されました。</admin 	ローカルの管理者ユーザーが削除され ました。	3
ローカルの管理者ユーザー <admin username>が編集されました。</admin 	ローカルの管理者ユーザーが編集され ました。	3
ユーザー <admin username="">のパスワ ードが変更されました。</admin>	パスワードが変更されました。	2
サーバー <ip>は<ip>で動作中のサー バーからすべてのデータを受信してい ます。</ip></ip>	サーバーが別のサーバーからすべての データを取得中です。	2
プライマリサーバーが作動中です。バ ックアップサーバーは待機モードに切 り替わります。	プライマリサーバーが作動しているた め、バックアップサーバーは待機モー ドで作動します。	2
プライマリサーバーが停止しました。 現在バックアップサーバーがアクティ ブで機能しています。	プライマリサーバーが応答を停止した ため、現在はバックアップサーバーが アクティブです。	2
バックアップサーバーが停止しました。 現在プライマリサーバーがアクティブ で機能しています。	バックアップサーバーが応答を停止し ました。プライマリサーバーは現在も 作動中です。	2
交信間隔 <value></value>	交信間隔は <value>です。</value>	4
交信再試行回数 <value></value>	交信再試行回数は <value>です。</value>	4
リモート交信間隔 <value></value>	リモート交信間隔は <value>です。</value>	4
最大日数 <value></value>	最大日数は <value>です。</value>	4

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
XTensionsモジュールのライセンスが チェックアウトされました [ApplName] [ApplVersion] [SerialNumber] [UserName] [HostID]。	このアプリケーションと関連付けられ ているXTensionsモジュールのライセ ンスがチェックアウトされました。	1
XTensionsモジュールのライセンスが チェックインされました [ApplName] [ApplVersion] [SerialNumber] [UserName] [HostID]。	このアプリケーションと関連付けられ ているXTensionsモジュールのライセ ンスがチェックインされました。	1
電子メール通知パラメータが設定され ました。	電子メール通知のパラメータが承認さ れました。	3
バックアップサーバーが起動中:サー バーIPアドレス: <ip> <port>:</port></ip>	指定したIPアドレスとポート番号でバ ックアップサーバーが使用できます。	1
ご使用のライセンスファイルは <date> に失効します。</date>	ライセンスファイルが、指定された日 に失効します。	3
ライセンス総数: <totallicenses> 残りのライセンス数:<remaininglicenes> シリアル番号:<serialnum> 割合:<percentage></percentage></serialnum></remaininglicenes></totallicenses>	このメッセージには、各種パラメータ に関する情報が表示されます。	5
ご使用のアプリケーション <serialnum> は<date>に失効します。</date></serialnum>	アプリケーションが、指定された日に 失効します。	3
ライセンスのチェックアウト完了:グルー プ: <pool>ソース:<>の<applname> <applversion> <serialnumber> <username> <hostid></hostid></username></serialnumber></applversion></applname></pool>	指定したグループからアプリケーショ ンがチェックアウトされました。	1
以下のオフラインライセンスがグルー ブ <pool name="">からクチェックアウトさ れました:<applname> <applversion></applversion></applname></pool>	指定したアプリケーションの指定した グループから、以下のオフラインライ センスがチェックアウトされました。	1

<Serialnumber> <username> <hostid>₀

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
失効するリモートライセンス:シリア ル番号 <serialnumber> 日数<days> 日付<days></days></days></serialnumber>	リモートライセンスが、指定された日 に失効します。	2
すでに予備ライセンスを使用しています。	すでに予備ライセンスが使用されてい ます。	1
ローカルの管理者ユーザー <user>が正 常に作成されました。</user>	ローカルの管理者ユーザーが作成され ました。	3
バックアップサーバーが起動中:サー バーIPアドレス <ip> サーバーポート<port></port></ip>	指定したIPアドレスとポート番号でバ ックアップサーバーが起動中です。	2
プライマリサーバーが起動中:サーバ ーIPアドレス <ip> サーバーポート<port></port></ip>	指定したIPアドレスとポート番号でプ ライマリサーバーが起動中です。	1
予備ライセンスのチェックイン完了: <application> <version> <serial no=""> <username> <hostid></hostid></username></serial></version></application>	ユーザーが、予備グループから取得し たライセンスをチェックインしました。	
電子メールサーバーが正常に設定され ました。	電子メールサーバーが設定され、サーバ ーが通知を送信できるようになりました。	
指定したリモートチェックアウトラ イセンスが正常に解析されました <application> <version> <username>。</username></version></application>	リモートライセンスファイルの更新中 に、選択したライセンスファイルを QLAか読み込み、そのデータを入力し ます。	
予約オフラインリストが空白です。	予約オフラインライセンスチェックア ウトライセンスが存在しません。	
チェックアウトされたライセンスはあ りません。	ライセンスをチェックアウトしたユー ザーはいません。	
延長チェックアウトリストが空白です。	オフラインライセンスをチェックアウ トしたユーザーはいません。	
グループユーザー <cpc admin="" user-<br="">name>は追加、編集、または削除され ています。</cpc>	指定したユーザーは追加、編集、また は削除されました。	
バックアップサーバーが再起動しまし た。プライマリサーバーは依然として アクティブで機能しています。	バックアップサーバーが再起動しまし たが、プライマリサーバーが作動中の ため、待機モードで作動します。	

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
リモートチェックアウトに成功しま した。	リモートチェックアウトに成功しま した。	
予約要求は正常に更新されました。	予約ライセンスの要求が更新されま した。	2
バックアップサーバーが再起動しまし たが、プライマリサーバーが依然とし て作動中です。	プライマリサーバーとバックアップサ ーバーの両方が作動中です。	2

警告

以下のような警告がシステムログに表示されます。

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
ライセンスへのチェックイン以前にク ライアントは終了/クラッシュしまし た: {アプリケーション} バージョン} {シリアル番号} ポート}	クライアントがライセンスをチェック インする前にQLAServerから接続か解 除されました。ユーザーが解除したか、 システムが不意に終了した可能性があ ります。	
ライセンスのチェックアウト中に、サ ーバーをシャットダウンしようとして います。	このメッセージは、ライセンスがまだ チェックアウト中であるときにサーバ ーがシャットダウンを開始したことを 警告するだけです。ライセンスがチェ ックアウトされたら、サーバーをシャ ットダウンできます。	
有効なライセンスがありません: {ア プリケーション} {バージョン} {シリ アル番号} {ホストID}	要求されたシリアル番号やアプリケー ションで使用できるライセンスがあり ません。	
QLAServerは動作していません。	QLA Serverが動作していません。	
ユーザーは、ノードロックグループか ら無効な削除をしようとしています。	ユーザーが、チェックアウトされた1 つ以上のライセンスを実行している間 に、メンバーをノードロックグループ から削除しようとしました。	

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
使用できるライセンスがありません。 予約ライセンスを予約できません <applname> <applversion> <serialnum> <username> <host id="">。</host></username></serialnum></applversion></applname>	使用できるライセンスが存在しないた め、予約チェックアウトの要求がキュ ーに入っていません。	2
コントロールパネルクライアントにロ グオン中、無効なパスワードが入力さ れました。	ログオンのときに無効なパスワードが 入力されました。	2
<>日より長くライセンスをチェックア ウトすることはできません。	指定した最大日数を超えてライセン スをチェックアウトすることはでき ません。	2
[IP]で作動しているインスタンスによ り[IP]で作動しているインスタンスは 無効になりました。	あるコンピュータで実行されていた処 理により、別のコンピュータで実行さ れていた処理が無効になりました。	2
ライセンスは失効しているため、リモ ートチェックアウトできません。	ライセンスが既に失効しているため、 ユーザーはそのライセンスをチェック アウトできません。	2
過去の日付のライセンスファイルは更 新できません。	ライセンスファイルを更新して過去の 日付でアクティブにすることはできま せん。	2
過去の日付のライセンスはリモートチ ェックアウトできません。	過去の日付のライセンスをリモートチ ェックアウトすることはできません。	2
他のユーザーが既にグループ/リスト を更新しています。システムは自動的 にサーバーから最新データに更新しま した。	更新しようとしていたグループまたは リストが、他のユーザーによって既に 更新されました。データは自動的に更 新されました。	2
ログオン中のユーザーが削除されよう としています。	削除しようとしているユーザーがログ オン中です。	
コントロールパネルクライアントへの ログオン中に、ユーザー< >は無効な ユーザー名またはパスワードを入力し ました。	コントロールパネルクライアントへ のログオン中に、ユーザーが無効な ユーザー名またはパスワードを入力 しました。	

表示メッセージ	メッセージの意味	ログレベル
延長チェックアウトの日数を <days>日 よりも長くすることはできません。</days>	リモートライセンスファイルを、許可 されている期間を超えてチェックアウ トすることはできません。	
予備ライセンスからは要求を予約でき ません。	予備グループからはリモートライセン スファイルを生成できません。	
指定されたオフラインチェックアウト ライセンスは解析されませんでした。	リモートライセンスファイルの更新中 に、選択したライセンスファイルを QLAが読み込めませんでした。	

付録B インストール後のアクティビティ

QLA ServerおよびQLA Control Panelソフトウェアのインストールが完了した後、緊急 ライセンスファイルを使用したり、連絡先情報を変更したり、ライセンスファイルを 再度ダウンロードしたりすることが必要となる状況に遭遇する場合があります。この 付録には、その情報がすべて記載されています。

QLAのインストールに関する詳細については、QLA CD-ROMに収録されている 「Installation Instructions.pdf」ファイルをご参照ください。

緊急ライセンスファイルの使用

ユーザーがライセンスファイル(「QLALicense.dat」)をダウンロードするとき、Quark社は 「QLALicenseBak.dat」というファイルをそのユーザーの電子メールアドレスに送信します。 このファイルは一時的な緊急ファイルで、サーバーが応答停止し、新しいライセンスファイ ルをダウンロードするためにインターネットにすぐにアクセスできない場合に使用できます。 サーバーが応答を停止した場合に緊急ライセンスファイルを使用するには、次の手順に従っ てください。

- 1 別のサーバーでQLA Serverソフトウェアをインストールします。
- 2 元のサーバーIPアドレスを新しいサーバーに割り当てます。緊急ライセンスファイルはサー バーのIPアドレスにロックされているので、新しいサーバーも元のサーバーと同じアドレス を使用してください。
- 3 緊急ライセンスファイルの名前を「QLALicenseBak.dat」から「QLALicense.dat」に変更 し、QLAアプリケーションフォルダ内の「Server」フォルダに入れます。
- 4 バックアップサーバーを使用している場合には、バックアップサーバーのQLAアプリケーションフォルダ内の「Server」フォルダに名前を変更した緊急ライセンスファイルをコピーしてください。
- 5 Quark社ウェブサイトから新しいライセンスファイルをダウンロードします。緊急ライセン スファイルは、使用開始から5日間作動します。
- 6 新しいライセンスファイルをダウンロードしたら、そのライセンスファイルとプライマリサ ーバーおよびバックアップサーバーの両方にある緊急ライセンスファイルを交換します。

緊急ライセンスファイルは、ライセンスファイルが破損したり、サーバーのネットワークカ ードが作動しなくなったりした場合にも使用できます。

連絡先情報の変更

「QLAライセンス登録」ページで、ライセンスファイルの連絡先情報を変更できます。 連絡先情報を変更するには、次の手順に従ってください。

- サーバーコンピュータを使用して、ウェブブラウザを起動し、Quark QLAのサイト (www.quark.com/products/qla またはeuro.quark.com/en/products/qla/)を開きます。ウェ ブページ用の言語を指定するオプションをクリックします。「お客様のアカウントへアクセス 中です」ページが表示されます。
- クライアントアクティビティがライセンスファイルをダウンロードするプロセスを妨害しないように、Quark社は、新しいライセンスファイルをダウンロードするたびにサーバーをシャットダウンすることを推奨しています。
 - 2 登録したライセンスダウンロード名を「ユーザー名」フィールドに入力します。
 - **3**「パスワード」フィールドにライセンスのダウンロード用パスワードを入力し、「ログオン」を クリックします。「アカウント情報」ページが表示されます。
 - 4 必要な情報を編集します。
 - 5「ライセンスファイルの保管先」フィールドの「参照」ボタンをクリックし、サーバー上の 「QLALicense.dat」ファイルの場所を指定します。この手順は、ユーザー情報を更新すると きにサーバーに新しいライセンスファイルをダウンロードするために必要な作業です。 「QLALicense.dat」ファイルは、「Server」フォルダにあります。
 - インストールしたライセンスファイルが見つからない場合には、「QLA Control Panel」ダ イアログボックスに入力した設定データが失われます。
 - 6 「送信」をクリックします。「ライセンスファイルのダウンロード」ページが表示されます。
 - 7 Mac OSでは、「ダウンロード」をクリックしながら「オプション」を押します。Windowsでは、「ダウンロード」をクリックします。
 - Mac OSのみ:「ダウンロード」をクリックしながら「オプション」を押さないと、ウェブブ ラウザにライセンスファイルの内容が表示される場合があります。

Windowsおよび Solarisのみ: ブラウザアプリケーションとしてNetscapeを使用している場合には、「ダウンロード」リンクを右クリックし、コンテクストメニューから「名前を付けて リンクを保存」を選択します。この手順を別の方法で実行すると、ブラウザにライセンスファイルの内容が表示される場合があります。

「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。

8「このファイルをディスクに保存」をクリックし、「OK」をクリックします。「名前を付けて 保存」ダイアログボックスが表示されます。

- **9**「名前を付けて保存」ダイアログボックスを使用してQLAアプリケーションフォルダ内にあ るServerフォルダを開き、「保存」をクリックします。
- 「名前を付けて保存」ダイアログボックスで、ファイルの名前を変更しないでください。ラ イセンスファイルの名前を変更すると誤作動が生じる可能性があります。

ライセンスファイルがダウンロードされたら、再度「**ライセンスファイルのダウンロード**」ペ ージが表示されます。

- **10**「**ログアウト**」をクリックします。
- 11 バックアップサーバーを使用している場合には、プライマリサーバーを再起動する前にバックアップ サーバーのQLAアプリケーションフォルダ内にある「Server」フォルダに「QLALicense.dat」 ファイルをコピーします。
- 12 QLAプライマリサーバーを起動し、次にバックアップサーバーを起動します。

登録した情報が不明であったり無効になったりしたために連絡先情報をすべて更新する必 要がある場合には、Quark社に連絡してください。

パスワードを忘れた場合

ユーザー名やパスワードを忘れた場合には、それらの情報をQuark社が電子メールメッセージで送信します。

忘れたパスワードを回復するには、次の手順に従ってください。

- サーバーコンピュータを使用して、ウェブブラウザを起動し、Quark QLAのサイト (www.quark.com/products/qla またはeuro.quark.com/en/products/qla/)を開きます。ウェ ブページ用の言語を指定するオプションをクリックします。「お客様のアカウントへアクセス 中です」ページが表示されます。
- 2「ご自身のログオン情報をお忘れの場合は、ここをクリックしてください」をクリックします。「ログオン情報の取得中」ページが表示されます。
- 3 「シリアル番号」フィールドにQuark社が許諾した製品のシリアル番号を入力し、「詳細情 報」をクリックします。要求された情報の送信を確認するページが表示されます。 Ouark社がユーザーのログオン情報を送信するために保管している電子メールアドレスを書

き留めてください。

Quark社が間違った電子メールアドレスにログオン情報を送信した場合には、Quark社に連絡して連絡先情報を更新してください。

新しいライセンスファイルのダウンロード方法

設定やハードウェアの変更により、新しいライセンスファイルをダウンロードする必要が生 じる場合があります。たとえば、プライマリサーバーやバックアップサーバーのサーバーホ ストID (Ethernetカードアドレス)またはIPアドレスを変更したり、ポート番号を変更した りする場合には、新しいライセンスファイルをダウンロードする必要があります。また、予 備ライセンスを購入した場合にも、新しいライセンスファイルが必要になります。

新しいライセンスファイルは、最新の連絡先情報を登録しているQuark社のウェブページから直接ダウンロードできます。

新しいライセンスファイルをダウンロードするには、次の手順に従ってください。

- サーバーコンピュータを使用して、ウェブブラウザを起動し、Quark QLAのサイト (www.quark.com/products/qla またはeuro.quark.com/en/products/qla/)を開きます。ウェ ブページ用の言語を指定するオプションをクリックします。「お客様のアカウントへアクセス 中です」ページが表示されます。
- クライアントアクティビティがライセンスファイルをダウンロードするプロセスを妨害しな いように、Quark社は、新しいライセンスファイルをダウンロードするたびにサーバーコンポ ーネントをシャットダウンすることを推奨しています。
 - 2 登録した名前を「ユーザー名」フィールドに入力します。
 - 3 「パスワード」フィールドにパスワードを入力し、「ログオン」をクリックします。「アカウント 情報」ページが表示されます。
 - 4 「ライセンスファイルの保管先」フィールドの「参照」ボタンをクリックし、サーバー上の 「QLALicense.dat」ファイルの場所を指定します。このファイルがサーバーに見つからない 場合や、以前の「QLALicense.dat」ファイルが破損している場合には、このフィールドを 空白にしてください。「QLALicense.dat」ファイルは、「Server」フォルダにあります。

QLAを古いバージョンから新しいバージョンに更新する場合は、ライセンス設定を維持す るために、古いバージョンの設定情報を新しいライセンスファイルに転送する必要がありま す。古いライセンスファイルの設定情報を新しいライセンスファイルに転送するには、「ライ センスファイルの保管先」フィールドにパスを入力するか、「参照」ボタンをクリックして、 サーバーに保存されている古いバージョンの「QLALicense.dat」ファイルを指定します。

インストールしたライセンスファイルが見つからない場合には、「QLA Control Panel」ダ イアログボックスに入力した設定データと予備ライセンスの使用状況データが失われます。

- 5「送信」をクリックします。「ライセンスファイルのダウンロード」ページが表示されます。
- 6 Mac OSでは、「ダウンロード」をクリックしながら「オプション」を押します。Windowsま たは Solarisでは、「ダウンロード」をクリックします。
- Mac OSのみ:「ダウンロード」をクリックしながら「オプション」を押さないと、ウェブブ ラウザにライセンスファイルの内容が表示される場合があります。

WindowsおよびSolarisのみ:ブラウザアプリケーションとしてNetscapeを使用している場合 には、「ダウンロード」リンクを右クリックし、コンテクストメニューから「名前を付けてリ ンクを保存」を選択します。この手順を別の方法で実行すると、ブラウザにライセンスファ イルの内容が表示される場合があります。

「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。

- **7 「このファイルをディスクに保存」**をクリックし、「OK」をクリックします。「名前を付けて保存 ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「名前を付けて保存」ダイアログボックスを使用してQLAアプリケーションフォルダ内にあ る「Server」フォルダを開き、「保存」をクリックします。

Mac OS上の「新規保存」フィールドまたはWindows/Solaris上の「名前を付けて保存」ダ イアログボックスの「ファイル名」フィールドでファイル名を変更しないでください。ライ センスファイルの名前を変更すると誤作動が生じる可能性があります。ライセンスファイル 名が「QLALicense.dat」であることを確認してください。

ライセンスファイルがダウンロードされると、「**ライセンスファイルのダウンロード**」ページ が表示されます。

9「ログアウト」をクリックします。

- **10** バックアップサーバーを使用している場合には、プライマリサーバーを再起動する前にバッ クアップサーバーのQLAアプリケーションフォルダ内にある「Server」フォルダに 「QLALicense.dat」ファイルをコピーします。
- 新しいライセンスファイルをダウンロードする必要があるときにQuark社のウェブサイトが 使用できない場合には、Quark社に連絡してください。Quark社より該当ファイルを電子メ ールメッセージで送信いたします。

登録した情報が不明であったり無効になったりしたために連絡先情報をすべて更新する必要がある場合には、Quark社に連絡してください。

サーバー名またはポート番号の変更方法

QLA Serverソフトウェアにインストールしたコンピュータの名称(「サーバー名」フィール ドに入力したDNS名またはIPアドレス)を変更する場合には、サーバー情報を更新する必 要があります。

サーバー名またはポート番号を変更するには、次の手順に従ってください。

- サーバーコンピュータを使用して、ウェブブラウザを起動し、Quark QLAのサイト (www.quark.com/products/qla またはeuro.quark.com/en/products/qla/)を開きます。ウェ ブページ用の言語を指定するオプションをクリックします。「お客様のアカウントへアクセス 中です」ページが表示されます。
- 2 必要な情報を変更し、新しいライセンスファイルをダウンロードします。これらの作業の実行方法の詳細については、本付録の「連絡先情報の変更」および「新しいライセンスファイルのダウンロード」をご参照ください。
- **3** QLA Control Panel ソフトウェア用の「QLA Control Log. properties」ファイルを開きます。
- プライマリサーバーの情報を変更する場合は、「QLACONTROL_HOST= [サーバーDNS 名またはIPアドレス]」および「QLACONTROL_PORT= [サーバーポート番号]」の情報 を新しいサーバー名やポート番号に更新します。
- バックアップサーバーの情報を変更する場合は、「QLACONTROL_BACKUPHOST= [サーバーDNS名またはIPアドレス]」および「QLACONTROL_BACKUPPORT= [サーバーポート番号]」の情報を新しいサーバー名やポート番号に更新します。
- **4** Quarkアプリケーションを実行する各クライアントコンピュータで「QLAClient.properties」 ファイルを開きます。
- プライマリサーバーの情報を変更する場合は、「QLASERVER_HOST=[サーバーDNS名 またはIPアドレス]」および「QLASERVER_PORT=[サーバーポート番号]」の情報を新し いサーバー名やポート番号に更新します。
- バックアップサーバーの情報を変更する場合は、「QLASERVER_BACKUPHOST= [サーバーDNS名またはIPアドレス]」および「QLASERVER_BACKUPPORT= [サーバーポート番号]」の情報を新しいサーバー名やポート番号に更新します。
- ➡ すべての「QLAClient.properties」ファイルを効率的に更新する方法として、新しいサーバ ー情報を用いて「QLAClient.properties」のマスターファイルを作成し、ユーザー全員に送 信する方法があります。各ユーザーは新しいファイルを自分のQuarkアプリケーションフォ ルダに取り込み、古いファイルと置き換えます。

用語解説

QLA Control Panel

QLA Control Panelは、Quark License Administratorのユー ザーインターフェイスです。「QLA Control Panel」ダイアロ グボックスは、ライセンスグループの割り当て、リモート (オフライン) ライセンスの監視、Quark社との使用状況デ ータの同期、システムログの設定、ログの検証を行なう場 合に使用します。

XTensionsモジュール

XTensionsモジュールは、Quarkアプリケーションの機能を 強化するソフトウェアです。

延長チェックアウト

延期チェックアウトは、QLA Serverに接続しなくても使用 できるように、ライセンスが使用できるグループからライセ ンスを一時的に消去することです。ライセンスがチェックア ウトされたとき、Quark License Administratorは、通常の グループからライセンスを消去し、チェックアウトされてい る間、そのライセンスを延長グループに追加します。

オフラインライセンス

オフラインライセンスは、QLA Serverに接続しなくても一 定期間チェックアウトできるライセンスです。

緊急キー起動(EKL)

緊急キー起動機能は、QuarkXPressを起動させる機能です。 この機能により、サーバーが使用できなくなった場合にクラ イアントコンピュータ上のアプリケーションを一時的に起動 できます。

交信

交信は、QLA Control PanelサーバーソフトウェアとQuarkア プリケーション間の接続が有効かどうかを調べるための通 信の間隔です。

サーバー名

サーバー名は、QLA Serverソフトウェアが搭載されたコン ピュータのDNS名またはIPアドレスです。

スーパーアドミニストレータ

スーパーアドミニストレータは、必要に応じてアドミニスト レータ階層内に複数のローカルアドミニストレータを設定 し、ライセンスを許諾します。スーパーアドミニストレータ はアドミニストレータ階層の最上位に配置されます。

ノードロックグループ

ノードロックグループは、一定数のライセンスを共有するユ ーザーとコンピュータのグループです。

ノードロックリスト

ノードロックリストは、特定のユーザーやコンピュータにラ イセンスを割り当てるライセンス割り当て方法です。

バックアップサーバー

バックアップサーバーは、プライマリサーバーが使用できな くなったときに代わりにライセンス使用状況管理を自動的 に行なう補助的なサーバーです。

プライマリサーバー

プライマリサーバーは、Quark License Administrator でライ センス使用状況を監視するために使用するメインサーバー です。

ポート

ポートは、QuarkアプリケーションやQLA Control Panelク ライアントがQLA Serverと交信するときに使用するチャネ ルです。

予備グループ

予備グループは、追加ライセンスへのアクセスを提供しま す。ライセンスは必要に応じて追加購入できます。

ライセンスキー

ライセンスキーは、Quarkアプリケーションで設定された使 用許可パラメータです。QLA Serverは、新しいライセンス 要求を受信したとき、ライセンスキーを使用してクライアン トアプリケーションの機能を適切に制御します。

ライセンスファイル

ライセンスファイルは、ユーザーによるネットワークでのラ イセンス使用を規制するためにQuark License Administrator に必要なファイルで、Quark社からダウンロードします。ラ イセンスファイルには、ユーザーのサーバー名およびポート 番号に関する情報、Quark License Administratorで管理する アプリケーションおよびシリアル番号、各アプリケーション 用に購入したランカウント、ユーザーが使用できる予備ラ イセンス数などが記録されています。

ランカウントグループ

デフォルト設定では、ランカウントグループは各Quarkアプ リケーション用に購入したライセンスの合計数です。他の リストやグループにライセンスを割り当てると、そのライセ ンス数はランカウントグループから消去されます。

ローカルアドミニストレータ

ローカルアドミニストレータは、特定の部署または他のグル ープのライセンス管理をするためにスーパーアドミニストレ ータが設定するアドミニストレータの1つです。ローカルアド ミニストレータは、他のユーザーを設定および管理でき、管 理を行なうためにサブアドミニストレータを設定できます。

ログビュアー

ログビュアーは、Quark License Administratorが記録した エラー、警告、およびイベントを閲覧できるウィンドウです。